



Quality **Forward**

ユーザマニュアル

VERISERVE

最終更新日 : 2020/12/18

目次

第 1 章 はじめに.....	8
1.1. テスト管理クラウド QualityForward.....	8
1.2. サポート環境.....	8
第 2 章 ユーザ管理.....	9
2.1. ユーザサインイン.....	9
2.1.1. パスワード再設定.....	10
2.1.2. アカウントロックの解除.....	11
2.2. ユーザ管理.....	12
2.2.1. ユーザを招待する.....	12
2.2.2. ユーザをテナントから削除する.....	16
2.3. ユーザ設定を変更する.....	16
2.3.1. プロフィール設定を変更する.....	17
2.3.2. パスワードを変更する.....	18
2.4. テナントを切り替える.....	19
2.5. アクセス権限を付与する.....	20
2.5.1. テナントのユーザ権限を変更する.....	22
2.6. テナントの使用量.....	23
2.7. お知らせを見る.....	24
第 3 章 初期設定.....	25
3.1. 新規プロジェクトを作成する.....	26
3.1.1. プロジェクトの基本設定.....	26
3.1.2. テスト結果のラベルを設定する.....	27

3.1.3.	テスト結果補足を設定する.....	27
3.1.4.	テストブロッカーを設定する.....	29
3.1.5.	テストスイートのテスト定義項目ラベルを設定する.....	29
3.1.6.	テスト結果部の項目ラベルを設定する.....	30
3.2.	プロジェクトのユーザ管理.....	31
3.2.1.	プロジェクトにユーザを追加する.....	31
3.2.2.	プロジェクト参加ユーザの権限を変更する.....	32
3.3.	プロジェクト設定を変更・削除する.....	33
3.3.1.	プロジェクト設定を変更する.....	33
3.3.2.	API キーを発行する.....	34
3.3.3.	プロジェクトをアーカイブする.....	34
3.3.4.	プロジェクト設定を削除する.....	36
3.4.	プロジェクトを複製する.....	37

第 4 章 進捗管理..... 39

4.1.	ダッシュボード.....	39
4.1.1.	成分バーと期限バー.....	39
4.1.2.	実施中のテストフェーズ.....	40
4.1.3.	最近完了したテストフェーズ.....	41
4.1.4.	実施中のテストサイクル.....	41
4.1.5.	レビュー待ちのテストサイクル.....	41
4.1.6.	最近完了したテストサイクル.....	42
4.2.	ワークスペースで自分のタスクを確認する.....	42

第 5 章 テストケースの管理..... 44

5.1.	テストスイートを作成する.....	44
5.1.1.	テストスイートの基本設定.....	44

5.1.2.	テスト定義の項目を設定する.....	45
5.1.3.	カバレッジパネルの集計に利用する項目設定.....	47
5.1.4.	テスト結果の自由項目を設定する.....	47
5.1.5.	テストブロッカーの集計に利用する項目を指定する.....	49
5.1.6.	初期バージョンを設定する.....	49
5.1.7.	ファイルを添付する.....	50
5.1.8.	テストスイートを検索する.....	51
5.2.	テストケース取込.....	52
5.2.1.	テストケース取込.....	53
5.3.	Excel インポート.....	57
5.3.1.	Excel インポート.....	57
5.4.	テストケース作成.....	61
5.4.1.	オンライン編集.....	61
5.5.	テストスイート設定を変更・削除する.....	64
5.5.1.	テストスイート設定を変更する.....	64
5.5.2.	テストスイートをアーカイブする.....	64
5.5.3.	テストスイートを削除する.....	66
5.5.4.	テストフェーズとの紐付けの解除方法.....	67
5.6.	テストスイートにヘッダを追加する.....	70
5.7.	新しいバージョンのテストスイートを作成する.....	71
5.7.1.	新しいバージョンの基本設定.....	72
5.7.2.	テストスイートバージョンにタグ付けをする.....	73
5.7.3.	テストスイートバージョンのステータスを設定する.....	75
5.8.	テストスイートバージョン設定を変更・削除する.....	76
5.9.	テストスイートをロックする.....	77
5.10.	テストスイートをダウンロードする.....	79

5.11. カバレッジパネルを利用する	80
---------------------------	----

第 6 章 テストフェーズの管理..... 83

6.1. テストフェーズを作成する	83
6.1.1. テストフェーズの基本設定.....	83
6.1.2. 対象のテストスイートバージョンを設定する.....	84
6.2. BTS 連携を行う	85
6.3. テストフェーズ設定を変更・削除する.....	85
6.3.1. テストフェーズ設定を変更する.....	86
6.3.2. テストフェーズをアーカイブする	86
6.3.3. テストフェーズを削除する.....	88

第 7 章 テストサイクルの管理..... 89

7.1. テストサイクルを作成する	89
7.2. テスト実施時に自動入力される値を設定する	91
7.3. 予実設定を管理する.....	92
7.3.1. 予実設定を入力する	92
7.3.2. 予実設定を初期化する	93
7.4. テストサイクル設定を変更・削除する.....	93
7.4.1. テストサイクル設定を変更する	94
7.4.2. テストサイクルを削除する.....	95
7.5. テストサイクルをエクスポートする.....	95
7.6. テストサイクルの再テストを行う	96
7.7. テストサイクルの進捗情報をコピーする	98

第 8 章 実行管理..... 100

8.1. テストを実行する.....	100
--------------------	-----

8.2.	テストを実行しながら BTS に起票する.....	102
8.3.	文字列の配置を変更する.....	102
8.4.	列の表示・非表示を切り替える.....	103
8.5.	テスト結果補足の設定内容を確認する.....	104
8.6.	テストケースを編集する.....	106
8.7.	テスト結果をエクスポートする.....	107
8.8.	テスト結果をインポートする.....	109
8.9.	掲示板でテスト状況の報告を行う.....	110
8.10.	レビューのワークフロー.....	112
8.10.1.	レビューを依頼する.....	112
8.10.2.	レビュー依頼を差し戻す.....	114
8.10.3.	レビューを完了する.....	116
8.11.	テストサイクルの状態を変更する.....	117
8.12.	関連ファイルを確認する.....	118
8.13.	テストの実行時間を確認する.....	119
8.14.	更新履歴管理.....	119

第 9 章 レポート管理..... 121

9.1.	プロジェクト全体のレポート.....	121
9.1.1.	収束曲線(総数).....	121
9.1.2.	収束曲線(変動).....	122
9.1.3.	プロジェクト全体のカバレッジパネル.....	123
9.1.4.	フェーズ一覧.....	125
9.2.	フェーズ毎レポート.....	125
9.2.1.	フェーズ毎のカバレッジパネル.....	125
9.2.2.	収束曲線(総数).....	126

9.2.3.	収束曲線(変動)	128
9.2.4.	チャートにフィルタをかける	129
9.2.5.	フィルタ設定を変更・削除する	131
9.2.6.	欠陥実績数を CSV で登録する	132
9.2.7.	進捗の内訳	134
9.2.8.	最近のインシデント	135
9.2.9.	バグ優先度別チャート	136
9.2.10.	ステータス別チャート	136
9.2.11.	テストブロッカーを確認する	137
9.2.12.	実績推移表	138
9.2.13.	実績推移表をエクスポートする	139
9.3.	レポート設定	140
9.3.1.	フッターのラベルを変更する	140
9.3.2.	レポートのラベルを変更する	141

第 10 章 チーム Wiki の管理 144

10.1.	チーム Wiki の作成	144
10.1.1.	ページを新規作成する	144
10.1.2.	ファイルを添付する	145
10.1.3.	ページを追加する	146
10.2.	チーム Wiki を編集・削除する	147
10.2.1.	ページを編集する	147
10.2.2.	ページを削除する	148

第 11 章 アラートセンターを利用する 149

11.1.	アラートを設定する	149
11.1.1.	レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っている際に検知する	149

11.1.2. レビュー依頼や完了時に含まれてはいけな結果が残っている際に検知する.....	151
11.1.3. テストフェーズの進捗に遅れがある際に検知する	152
11.2. アラートをアーカイブする	153

第1章 はじめに

このたびは、ベリサーブのクラウド、QualityForward へご興味をもっていただき誠にありがとうございます。本章では QualityForward をご利用いただく際に必要な基本情報をご説明します。

1.1. テスト管理クラウド QualityForward

QualityForward は高度なテストサービスを日々提供し、産学連携の技術開発にも貢献し続けるベリサーブのクラウドテスト管理サービスです。

現場の管理・分析・設計ノウハウ、および研究機関との共同開発の成果を、クラウド、そしてエンジニアを通じて、ご活用いただけます。

1.2. サポート環境

本節では、QualityForward がサポートするブラウザ、外部連携について説明します。

1. ブラウザ

ブラウザ	備考
Google Chrome 最新版 (推奨)	
Microsoft Edge 最新版	

2. 外部連携

Redmine 又は JIRA と同期することで、バグのオープンクローズチャートを QualityForward 上で確認することが可能です。

BTS	サポートバージョン	備考
Redmine	2.0 以上	Redmine の REST API を利用します
JIRA	7.0 以上	JIRA の REST API を利用します

第2章 ユーザ管理

本章では、ユーザ情報の管理について説明します。

2.1. ユーザサインイン

(1) トップ画面のログインをクリックします。



(2) 招待を承認済みのメールアドレスとパスワードを入力してサインインボタンを押します。

サインイン

メールアドレス

パスワード

[サインイン](#)

[パスワードをお忘れの場合](#)

2.1.1. パスワード再設定

パスワードを忘れてしまった場合はパスワードの再設定が必要です。ここでは、パスワードを再設定する方法を説明します。

- (1) サインイン画面より、“パスワードをお忘れの場合”をクリックしてください。



The screenshot shows a login form with the following elements:

- サインイン (Sign In) header
- メールアドレス (Email Address) input field
- パスワード (Password) input field with a hint: 半角英数記号8文字以上 (8 characters or more, alphanumeric)
- サインイン (Sign In) button
- 🔗パスワードをお忘れの場合 (Forgot Password) link, which is highlighted with a red box.

- (2) パスワードを再設定したいアカウントのメールアドレスを入力し、パスワード再発行ボタンを押します。パスワード再設定のためのメールが入力されたメールアドレス宛に送付されます。



The screenshot shows a form titled "パスワードの再発行" (Reset Password) with the following elements:

- メールアドレス (Email Address) input field
- パスワード再発行 (Reset Password) button

- (3) 送信されたメールから、パスワード再設定のための URL をクリックします。



The screenshot shows an email with the following content:

- qualityf.user@gmail.comさん (To: qualityf.user@gmail.com)
- 以下のURLからパスワードの再設定を行えます。 (You can reset your password from the following URL.)
- https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/password/edit?reset_password_token=MhiJ44 (This URL is highlighted with a red box.)
- パスワードの再設定をリクエストした覚えのない方は、このメールを破棄して下さい。 (If you do not remember requesting a password reset, please delete this email.)
- あなたが上記のURLにアクセスしない限り、パスワードの再設定は行われません。 (Unless you access the above URL, your password will not be reset.)
- QualityForward
<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/>
- ※本メールは送信専用のメールアドレスから送信されているため返信はできません (This email is sent from a dedicated email address, so replies are not possible.)

- (4) パスワード欄と確認用パスワード欄に新しく設定したいパスワードを入力し、パスワード変

更ボタンを押します。



2.1.2. アカウントロックの解除

ログインに 5 回以上失敗した場合、アカウントにロックがかかります。ロックのかかったアカウントはユーザ名に🔒マークが付きます。テナント管理者がロックを解除することができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) ロックのかかったアカウントの下に表示されているロックを解除をクリックします。



- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

QFuser41さんのロックを解除してもよろしいですか？

OK

キャンセル

2.2. ユーザ管理

現状の QualityForward ではユーザは所属するプロジェクト以下の、テストフェーズ、サイクルに対し読み込み・書き込みの権限を持ちます。テスト業務をスムーズに遂行するために、プロジェクトに所属する要員であれば誰でも自由に資料にアクセスできた方が良く、という考え方が背景にあります。所属しないプロジェクトに関しては、読み込み・書き込みのどちらも行うことができません。

2.2.1. ユーザを招待する

ゲストがユーザとしてサインインを行うには、ユーザの招待が必要です。通常、招待されたユーザはいずれかのテナントに属します。ユーザの招待はテナント管理者権限を持つユーザのみが行え、プロジェクト管理者または一般ユーザは新たにユーザを招待することができません。本項ではテナント管理者が新しくユーザを招待する方法を説明します。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) テナントのユーザー一覧の右上にあるユーザ招待ボタンを押します。

名前	メールアドレス	最終ログイン日時
テナント管理者 確認済 QFuser21	qualityf.user+21@gmail.com	2019/11/14 19:11

- (3) 招待したいユーザのメールアドレスを入力します。

参加	管理者	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	サンプルプロジェクト

- (4) ユーザを招待する際に、参加させるプロジェクトの選択ができ、プロジェクトの管理者としての権限を与えることもできます。各権限での実行可能な機能については、手順 [2.5](#) をご覧ください。

招待するユーザにプロジェクト管理者としての権限を与えたい場合は、管理者のチェックボックスにチェックを入れます。

管理者権限が不要な場合は、参加のチェックボックスにのみチェックを入れます。管理者権限は後から変更することができます。

新規ユーザの招待

基本設定

メールアドレス

テナントの権限

プロジェクト設定

参加	管理者	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	サンプルプロジェクト

招待メールを送る

(5) 招待メールを送るボタンを押します。

プロジェクト設定

参加	管理者	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	サンプルプロジェクト

招待メールを送る

※テナントの権限で「テナント管理者」を選択している場合、プロジェクト設定は表示されません。

新規ユーザの招待

基本設定

メールアドレス

テナントの権限

プロジェクト設定

参加	管理者	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	サンプルプロジェクト

招待メールを送る

- (6) 入力したメールアドレス宛に招待メールが送信されます。招待メールから、招待を承認するための URL をクリックします。



- (7) 名前とパスワードを入力し、続けるボタンを押します。

The screenshot shows a registration form titled "名前とパスワードの設定" (Setting name and password). It contains three input fields: "名前" (Name) with the placeholder "システム上で表示する名前" (Name to be displayed on the system), "パスワード" (Password) with the placeholder "半角英数記号8文字以上" (8 or more alphanumeric characters), and "確認用パスワード" (Confirmation password) with the placeholder "もう一度入力してください" (Please enter again). A blue "続ける" (Continue) button is located at the bottom of the form.

※本画面で設定したお名前が、テスト結果のテスター欄に記入されます。お名前、メールアドレス、パスワードは後から変更可能です。

※招待メールを紛失した際などはテナントのユーザ管理画面から招待 URL の再生成が可能です。



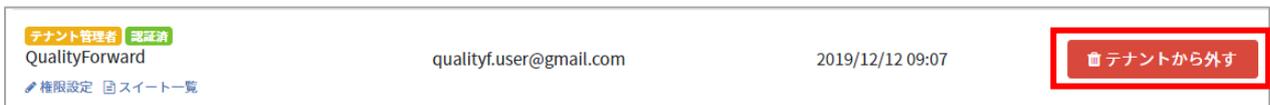
2.2.2. ユーザをテナントから削除する

登録ユーザのアカウントを削除する方法について説明します。※テストスイートの管理者となっているアカウントはテナントから削除することができません

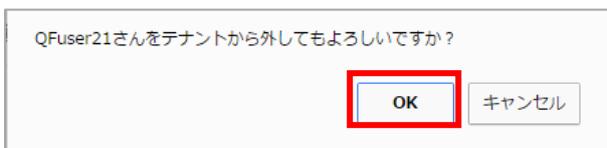
- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) 一覧から、停止するユーザのメールアドレス横にあるテナントから外すボタンを押します。



- (3) 停止の確認メッセージダイアログボックスが表示されたら OK ボタンを押します。



2.3. ユーザ設定を変更する

ユーザ毎にアカウントの設定を変更することができます。

2.3.1. プロフィール設定を変更する

以下の手順でユーザの名前、メールアドレスの変更ができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



- (2) 変更したい名前またはメールアドレスを入力します。



The screenshot shows the 'プロフィール設定' (Profile Settings) form. The '名前' (Name) field contains 'QF太郎' and the 'メールアドレス' (Email Address) field contains 'xxxxxxx@sample.co.jp'. Both fields are highlighted with a red box. Below these fields is a 'プロフィール画像' (Profile Image) section with a 'Q' icon and a 'ファイルを選択' (Select File) button. At the bottom is a '更新する' (Update) button.

- (3) ファイルを選択ボタンを押し、プロフィールに設定したい画像を選択します。

プロフィール設定

必須 名前
QF太郎

必須 メールアドレス
xxxxxxx@sample.co.jp

プロフィール画像
Q
ファイルを選択 選択されていません

更新する

- (4) 変更したい箇所の入力を終わったら更新するボタンを押します。

2.3.2. パスワードを変更する

以下の手順でパスワードの変更ができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。

QualityForward ▾

ご利用中のテナント
サンプルテナント

テナントの切り替え
テナントのユーザ管理
テナントの使用量

お知らせ
ユーザ設定
サインアウト

- (2) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、更新するボタンを押します。

パスワード変更

必須 現在のパスワード

必須 パスワード

半角英数記号8文字以上

●パスワードの強度が色で表示されます。安全に利用するために緑色にするのがお勧めです。

必須 確認用パスワード

もう一度入力してください

更新する

2.4. テナントを切り替える

複数テナントに属するユーザはログインした状態でテナントを切り替えることができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの切り替え”をクリックします。

※ユーザが属するテナントがひとつの場合、テナント切り替えメニューは表示されません。

QualityForward

ご利用中のテナント
サンプルテナント

テナントの切り替え

テナントのユーザ管理

テナントの使用量

お知らせ

ユーザ設定

サインアウト

- (2) 切り替えたいテナント名の右側にある切り替えボタンを押します。

テナントを選択してください

サンプルテナント	切り替え
veriserve	切り替え

2.5. アクセス権限を付与する

ユーザの権限レベルにより、ユーザをテナントへ招待したり、プロジェクトへの招待・管理者設定を行うことができます。

それぞれの権限での実行可能機能は以下の通りです。

テナントの管理に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
ユーザの招待・削除	○	×	×
ユーザ権限の変更	○	×	×
テナントのユーザ数と結果数の確認	○	×	×

プロジェクトの管理に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
既存ユーザへのプロジェクト管理者権限の付与・はく奪	○	○	×
プロジェクトへのユーザの追加	○	○	×
プロジェクトの作成・削除	○	×	×
プロジェクトの複製	○	×	×
プロジェクトのアーカイブ	○	×	×
プロジェクトのAPIキー生成	○	○	×

各機能に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
テナントのユーザ管理	○	×	×
テナントの使用量閲覧	○	×	×
プロジェクトの作成	○	×	×
プロジェクト設定の変更	○	○	○
プロジェクトの削除	○	×	×
APIキー生成	○	○	×
プロジェクトのアーカイブ	○	×	×
プロジェクトのユーザ管理	○	○	×
テストスイートのアーカイブ	○	○	×
テストスイートバージョンのロック	○	○	×
テストフェーズの作成	○	○	○
テストフェーズ設定の変更	○	○	○
テストフェーズのアーカイブ	○	○	×
テストフェーズの削除	○	○	×
テストサイクルの作成	○	○	○
テストサイクル設定の変更	○	○	○
テストサイクルの状態変更	○	○	×
テストサイクルの削除	○	○	×
テストサイクルのコメント削除	○	○	×
アラートセンターの設定	○	○	×
アラートのアーカイブ	○	○	×

2.5.1. テナントのユーザ権限を変更する

ユーザの権限が「テナント管理者」の場合、他のユーザに対しテナント管理者権限の付与または一般ユーザへの変更を選択できます。各権限での実行可能な機能については、手順 [2.5](#) をご覧ください。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) テナントのユーザー一覧から権限を変更したいユーザ名の下の“権限設定”をクリックします。



- (3) テナントの権限リストボックスから権限を選択します。



- (4) 更新するボタンを押します。

2.6. テナントの使用量

テナント全体の最大ユーザ数と最大テスト結果数を月毎に確認することができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの使用量”をクリックします。



- (2) 月毎の最大ユーザ数と最大テスト結果数がこちらで確認できます。



The image shows a screenshot of the 'Usage of Sample Tenant' page. The page title is 'トップ / サンプルテナントの使用量'. The user is logged in as 'QualityForward@サンプルテナント'. The main content is a table titled '月別の最大使用量' (Maximum Usage by Month).

対象月	最大ユーザ数	最大テスト結果数
2017年09月	8人	4,245件
2017年08月	8人	4,228件

- (3) また、プロジェクト一覧でも登録済みユーザ数を確認することができます。

現在4人登録中で、1人が承認待ちです

プロジェクト一覧

+プロジェクト追加

▶ アクティブ 1 ■ アーカイブ 0

名前を検索 検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	3人

2.7. お知らせを見る

QualityForward からののお知らせはユーザメニューよりご確認ください。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“お知らせ”をクリックします。



QualityForward ▾

ご利用中のテナント
サンプルテナント

テナントの切り替え
テナントのユーザ管理
テナントの使用量

お知らせ
ユーザ設定
サインアウト

- (2) 内容を確認したいお知らせのリンクをクリックします。

お知らせ一覧

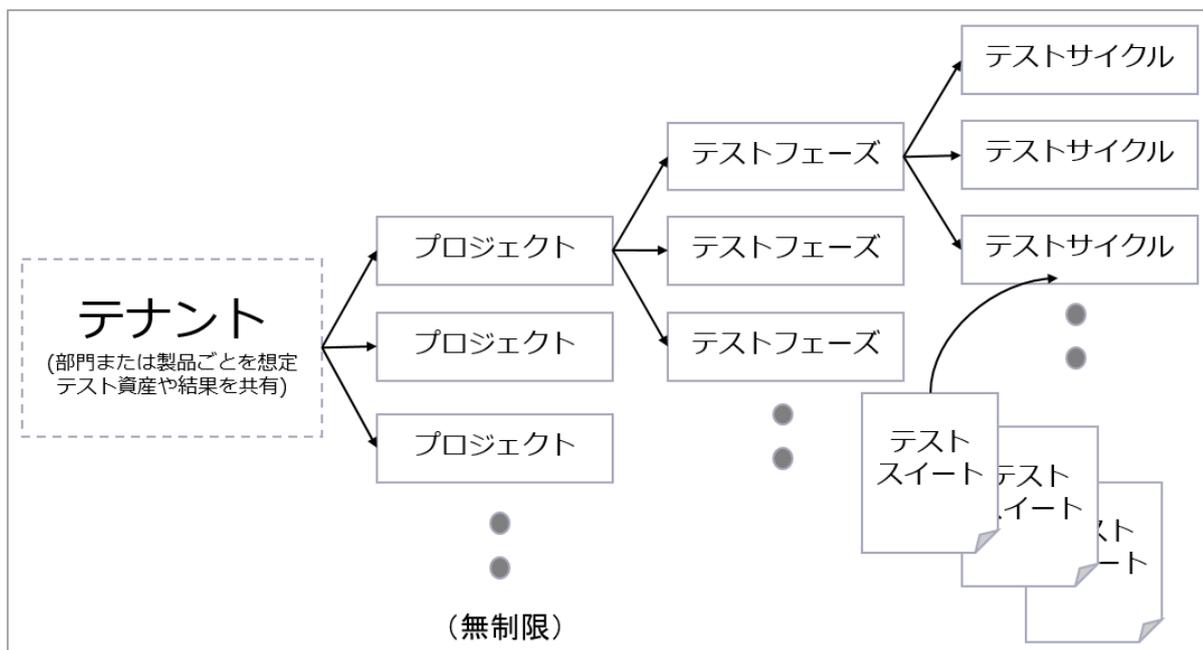
お知らせ Internet Explorer(I)のサポート終了のお知らせ	2020/06/08
アップデート告知 テストサイクルにテスト担当者が設定できるようになります	2020/06/05
アップデート告知 結果入力にデフォルト値が設定できるようになります	2020/04/23

第3章 初期設定

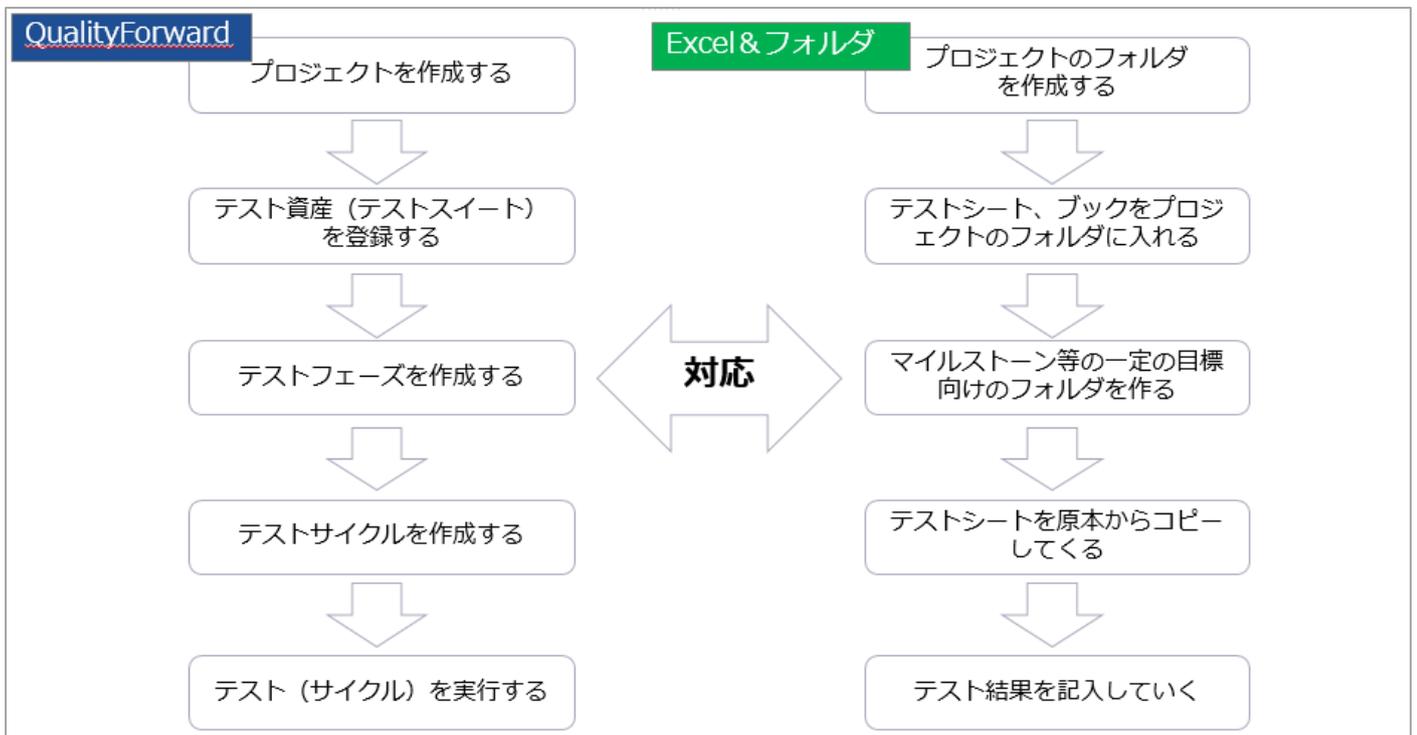
QualityForward におけるテストプロジェクトは以下のような構造を持っています。

テナントという仮想的なトップレベルの構造がお客様ごとに生成され、ログイン直後はこのテナントに属するプロジェクトの一覧が表示されます。テナントは製品ライン、プロジェクトはそのまま、一定の期間をもつプロジェクトとお考え下さい。

プロジェクトごとに、一定の期間、ボリュームが設定されたテストフェーズが存在し、フェーズの下に、プロジェクトのテストスイートから生成されたテストサイクル（テストの実行単位）が属します。



ファイルサーバのフォルダと Excel のシート、ブックを利用してプロジェクトを進める場合と、QualityForward を利用してプロジェクトを進める場合を下図で比較します。以下のように、フォルダと Excel での作業の流れとほぼ完全に対応しています。



3.1. 新規プロジェクトを作成する

プロジェクトの新規作成手順について説明します。プロジェクトの設定は後から変更可能です。

3.1.1. プロジェクトの基本設定

- (1) ユーザサインイン後に表示されるプロジェクト一覧の右上にあるプロジェクト追加ボタンを押します。



- (2) プロジェクトの基本情報を入力します。概要説明は HTML 形式での入力が可能です。

プロジェクトの新規追加

基本設定

必須 プロジェクト名

必須 概要説明

3.1.2. テスト結果のラベルを設定する

テスト結果を入力する際のラベルを決めます。テスト結果のラベルは7種類まで設定することができます。進捗数として数えたくないテスト結果の種類がある場合、「進捗集計の対象としない」チェックをオンにします。変更の必要がない場合はそのまま登録の手順に進んでください。

テスト結果のラベル

必須 PASSのラベル

①期待動作と製品の振る舞いに相違がない場合に指定します

進捗集計の対象としない

必須 FAILのラベル

①期待動作と製品の振る舞いに相違がある、または個別の決定的な不具合がある場合に指定します

進捗集計の対象としない

必須 SKIPのラベル

①テスト実施者の判断で一時的に判断を保留する場合に指定します

進捗集計の対象としない

必須 CUTのラベル

①テスト管理者の判断で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

進捗集計の対象としない

必須 BLOCKのラベル

①テスト実施中の何らかの事情で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

進捗集計の対象としない

必須 N/Aのラベル

①機能ドリップなど、テスト対象の事情で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

進捗集計の対象としない

必須 Q&Aのラベル

①テスト中に何らかの質問を行う必要がある場合に指定します

進捗集計の対象としない

3.1.3. テスト結果補足を設定する

テスト結果を入力した後に結果の変更があった場合などに、テスト結果の補足(FAIL から PASS へ変更など)を入力することができます。このテスト結果補足は、通常のテスト結果と同様にテスト実行画面での入力が可能で実績推移表で集計が行われます。

- (1) テスト結果補足を使用する場合は、「補足を利用する」にチェックを入れます。

| テスト結果の補足

補足を利用する

- (2) テスト結果が入力された場合に、結果に紐づくテスト結果補足を設定できます。入力形式は csv で「名称,説明書き」の形式で入力します。Q&A は内容の分類を追加するなどして補足することができます。Q&A は収束曲線でも表示されます。

| テスト結果の補足

補足を利用する

注意：テスト結果保全のため、一度補足の種類を追加したら減らす事はできません。ラベルの変更は可能です。
補足はテキストエリアの何行目かをIDとして利用しています。
フォーマットはCSVで、1列目は名称、2列目は説明書きとなっています。

PASSの補足

```
FAIL → PASS, FAIL → PASS
SKIP → PASS, SKIP → PASS
QA → PASS, QA → PASS
aaaa,aaaaa
!"#$%&'()*`*?+
```

FAILの補足

```
Q&A → FAIL, Q&A → FAIL
SKIP → FAIL, SKIP → FAIL
```

SKIPの補足

```
FAIL → SKIP, FAIL → SKIP
```

CUTの補足

```
FAIL → CUT, FAIL → CUT
SKIP → CUT, SKIP → CUT
```

BLOCKの補足

```
FAIL → BLOCK, FAIL → BLOCK
SKIP → BLOCK, SKIP → BLOCK
CUT → BLOCK, CUT → BLOCK
```

N/Aの補足

```
FAIL → N/A, FAIL → N/A
SKIP → N/A, SKIP → N/A
CUT → N/A, CUT → N/A
BLOCK → N/A, BLOCK → N/A
```

Q&Aの補足

```
1,QA1
2,QA2
3,QA3
4,QA4
5,QA5
6,QA6
```

※一度保存をすると種類を減らすことができません。

※保存済のラベルを変更することは可能です。

3.1.4. テストブロッカーを設定する

テストブロッカーとは BLOCK・Q&A など、タスクがテスト実行者以外にあるためテストが実施できない項目を指します。テストブロッカーを設定するとレポート画面に BLOCK・Q&A の項目ごとの内訳が集計され、テストの進行への影響度をリアルタイムで確認することができます。(手順 [9.2.11 参照](#))

「テストブロッカーの設定」で集計したい項目にチェックを入れます。チェックを入れた項目に入力した値が集計され、件数の多い上位 10 件が表示されます。



テスト結果の補足

補足を利用する

テストブロッカーの設定

BLOCKの結果を集計する

Q&Aの結果を集計する

テストスイートのテスト定義項目ラベル

必須 項目1のデフォルトラベル

機能カテゴリ

※このほかにテストスイートの設定にて集計するラベルを指定する必要があります。(手順 [5.1.5 参照](#))

3.1.5. テストスイートのテスト定義項目ラベルを設定する

テストスイートの項目名を決めることができます。ここで入力したラベルは全てのテストスイートに反映されます。テストスイートのテスト定義項目は標準で 25 項目まで(申込時オプションによって異なります)設定が可能です。使わない項目はそのまま登録してください。項目ラベルはテストスイート毎に変更することも可能です。(手順 [5.5.1 参照](#))

テストスイートのテスト定義項目ラベル

必須 項目1のデフォルトラベル

必須 項目2のデフォルトラベル

必須 項目3のデフォルトラベル

必須 項目4のデフォルトラベル

必須 項目5のデフォルトラベル

必須 項目6のデフォルトラベル

3.1.6. テスト結果部の項目ラベルを設定する

テスト実行画面のテスト結果部の項目名をここで設定できます。入力したラベルは全てのテストスイートに反映されます。項目ラベルはテストスイート毎に変更することも可能です。(手順 [5.5.1](#) 参照)

テスト結果部の項目は標準で 10 列まで使用可能です。(申込時オプションによって異なります)

テストスイートのテスト結果項目ラベル

項目1のデフォルトラベル

項目2のデフォルトラベル

項目3のデフォルトラベル

項目4のデフォルトラベル

項目5のデフォルトラベル

登録する

全ての入力を終わったら「登録する」ボタンを押します。ダッシュボードの画面に切り替われば

プロジェクト登録完了です。

3.2. プロジェクトのユーザ管理

テナント管理者またはプロジェクト管理者の権限を持つユーザは、テナント内のユーザをプロジェクトに招待することができます。またテナント管理者の権限を持つユーザはプロジェクト参加ユーザの権限を変更することができます。各権限での実行可能な機能については、手順 [2.5](#) をご覧ください。

3.2.1. プロジェクトにユーザを追加する

(1) プロジェクトのダッシュボードからユーザ管理ボタンを押します。



トップ / QFサンプルプロジェクト QualityForward@veriserve ▾

QFサンプルプロジェクト [ユーザ管理](#) [設定](#)

QualityForward をご利用いただいておりますユーザ様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

- この概要欄ではほとんどのHTMLタグが利用可能です。
- 画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

 VERISERVE

(2) プロジェクト参加ユーザー一覧の右上のユーザ追加ボタンを押します。



トップ / QFサンプルプロジェクト / プロジェクトのユーザー一覧 QualityForward@veriserve ▾

参加ユーザー一覧

メールアドレスで検索 [+ ユーザ追加](#)

名前	メールアドレス
テナント管理者 QFuser20	qualityf.user+20@gmail.com
テナント管理者 vmkwrд (ユーザ権限5)	vmkwrд+10@gmail.com
テナント管理者 QFuser13	qualityf.user+13@gmail.com
テナント管理者 QFuser12	qualityf.user+12@gmail.com

(3) 当該プロジェクトに参加していないユーザの一覧が表示されます。プロジェクトの管理者と

して参加させる場合は、追加するユーザの管理者チェックボックスをオンにします（このとき、参加チェックボックスも自動でオンになります）。一般ユーザとして参加させる場合は、参加のチェックボックスをオンにします。

ユーザの追加			
参加	管理者	名前	メールアドレス
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser1	qualityf.user+1@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser2	qualityf.user+2@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser3	qualityf.user+3@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser4	qualityf.user+4@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser5	qualityf.user+5@gmail.com

選択したユーザを追加

(4) 選択が完了したら、「選択したユーザを追加」ボタンを押します。

3.2.2. プロジェクト参加ユーザの権限を変更する

(1) プロジェクトのダッシュボードからユーザ管理ボタンを押します。

トップ / QFサンプルプロジェクト QualityForward@veriserve ▾

QFサンプルプロジェクト

QualityForwardをご利用いただいておりますユーザ様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

- この概要欄ではほとんどのHTMLタグが利用可能です。
- 画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

 VERISERVE

[ユーザ管理](#) [設定](#)

(2) 一覧から権限を変更したいユーザ名横にある設定変更ボタンを押します。



(3) プロジェクトの権限を選択し、更新するボタンを押します。



3.3. プロジェクト設定を変更・削除する

作成したプロジェクトはいつでも変更することが可能です。プロジェクトの変更はどの権限のユーザでも行えますが、プロジェクトの削除はテナント管理者のみ実行可能です。

3.3.1. プロジェクト設定を変更する

(1) トップ画面から変更したいプロジェクト名のリンクをクリックします。

(2) プロジェクトのダッシュボード画面右上の設定ボタンを押します。



(3) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

3.3.2. API キーを発行する

QualityForward はテストスイート、テスト結果データへの、ウェブ API によるフルアクセス (CRUD)をサポートしております。

これらの API を利用して、組み合わせテストの自動生成や、独自ルールでの集計等が実現可能です。

WebAPI キーは以下の手順で発行できます。

- (1) プロジェクト設定画面を開きます。



- (2) API キー欄横の生成ボタンを押します。



3.3.3. プロジェクトをアーカイブする

終了したプロジェクトはプロジェクトの一覧から外し、整理することができます。アーカイブはテナント管理者のみ実行可能です。プロジェクト一覧からプロジェクトを除外する機能のため、これまで同様編集を行うことが可能です。

- (1) プロジェクトの設定画面の下部にあるアーカイブボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

テストプロジェクトをアーカイブしても宜しいですか？

OK

キャンセル

- (3) アーカイブしたプロジェクトはプロジェクト一覧のアーカイブタブに表示されます。

プロジェクト一覧 +プロジェクト追加

▶ アクティブ **■ アーカイブ**

名前で検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
テストプロジェクト	0件	0件	1人

- (4) アーカイブされたプロジェクトを再びアクティブタブに表示させることもできます。アーカイブタブ内の任意のプロジェクト名をクリックします。

プロジェクト一覧 +プロジェクト追加

▶ アクティブ **■ アーカイブ**

名前で検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
Sample project	5件	9件	7人

- (5) プロジェクト設定画面を開きます。

Sample project

- (6) プロジェクトの設定画面の下部の項目「プロジェクトをアーカイブから戻す」内の「アーカイブから戻す」ボタンを押します。

プロジェクトをアーカイブから戻す

注意！
アーカイブから戻すと一覧に表示されるようになります。
再度一覧に表示したい場合に実行して下さい。

- (7) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

Sample projectをアーカイブから戻しても宜しいですか？

- (8) アーカイブから戻されたプロジェクトはプロジェクト一覧のアクティブタブに表示されます。



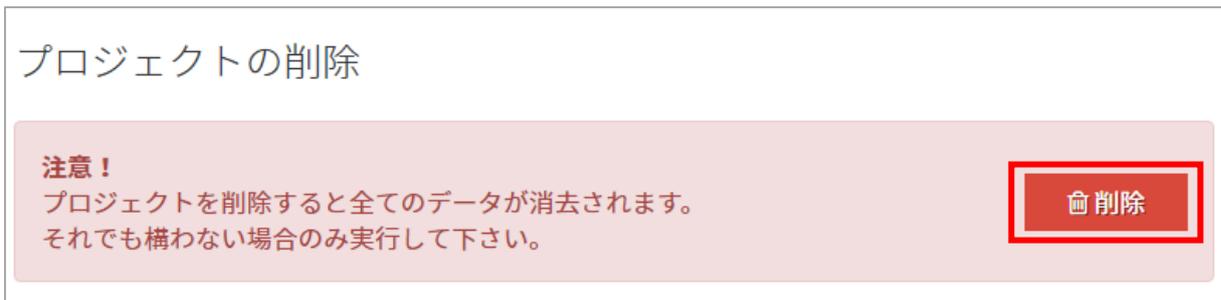
The screenshot shows the 'プロジェクト一覧' (Project Overview) page. At the top right, there is a green button labeled '+ プロジェクト追加'. Below the title, there are two tabs: '▶ アクティブ 2' (Active 2) and '▼ アーカイブ 0' (Archived 0). The 'Active' tab is highlighted with a red box. Below the tabs is a search bar with the text '名前を検索' and a '検索' (Search) button. A table below displays project information:

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
Sample project	5件	9件	7人
サンプルプロジェクト	10件	6件	8人

3.3.4. プロジェクト設定を削除する

プロジェクトの削除はプロジェクト設定画面から行うことができます。

- (1) プロジェクト設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



The screenshot shows the 'プロジェクトの削除' (Delete Project) confirmation screen. It features a red warning box with the following text: '注意！プロジェクトを削除すると全てのデータが消去されます。それでも構わない場合のみ実行して下さい。' (Warning! Deleting the project will delete all data. Please execute only if you are sure you do not mind this.) To the right of the warning box is a red button labeled '🗑️ 削除' (Delete).

- (2) プロジェクト削除の確認が表示されます。削除する場合はプロジェクト名を入力し、「理解した上でこのプロジェクトを削除する」ボタンを押します。

プロジェクト削除の確認

注意！

「サンプルプロジェクト」には以下のデータが含まれています。
これらは一度削除すると元に戻すことができません。
プロジェクトを削除することで各種レポートのデータも削除されます。

テストスイート数	5件
テストスイートバージョン数	5件
テストケース数	5,674件
テストフェーズ数	5件
テストサイクル数	10件
テスト結果数	4,576件
チームWiki数	1件

確認の為、プロジェクト名を入力してください

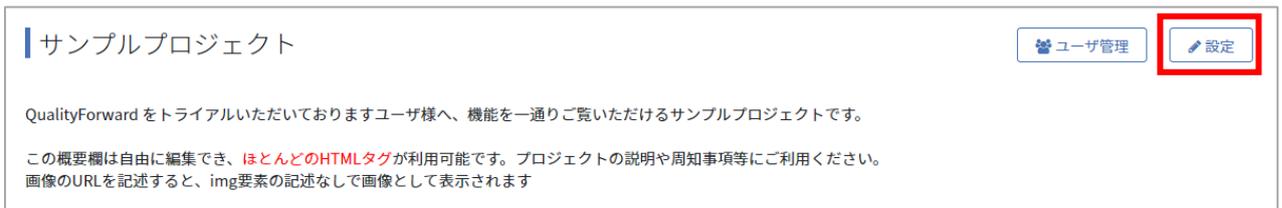
理解した上でこのプロジェクトを削除する

※この後に確認メッセージなどは表示されませんので削除の際は十分に注意してください。

3.4. プロジェクトを複製する

既存プロジェクトをコピーして新しいプロジェクトを作成する場合に行う作業です。プロジェクト複製はテナント管理者のみ実行可能です。

- (1) コピーしたいプロジェクトのダッシュボードから設定画面を開きます。



サンプルプロジェクト

QualityForward をトライアルいただいておりますユーザーへ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、ほとんどのHTMLタグが利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。
画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

ユーザー管理 設定

- (2) 設定画面下部「このプロジェクトをベースにした新規プロジェクトの作成」の「処理開始」

ボタンを押します。

このプロジェクトをベースにした新規プロジェクトの作成

注意！

参加ユーザ設定と有効なテストスイートをコピーして新規プロジェクトを作成します。
コピー処理には時間がかかるため、コピー作業中はプロジェクトの一覧画面でコピー中である旨が表示されます。

処理開始

(3) 確認メッセージが出たら「OK」ボタンを押します。

cloud.veriserve.co.jp の内容

Sample Projectをベースに新規プロジェクトを作成しても宜しいですか？

OK キャンセル

(4) コピーが完了すると操作を行ったユーザ宛にメールで通知されます。

【QualityForward】「コピー元プロジェクト」をベースにした
新規プロジェクトの作成が完了しました 受信トレイ x

no-reply@cloud.veriserve.co.jp 8月25日(火) 10:44 (8日前) ☆ ↶ ⋮
To 自分 ▾

以下のURLから該当プロジェクトにアクセスできます。

<https://> [redacted]

QualityForward
<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/>

※本メールは送信専用のメールアドレスから送信されているため返信はできません

第4章 進捗管理

本章ではプロジェクトのテスト進捗管理について説明します。

4.1. ダッシュボード

ダッシュボードでは各テストフェーズ、テストサイクルの進捗状況をひと目で確認することができます。(表示上限はありません)



4.1.1. 成分バーと期限バー

テストケース消化率と、テスト結果の割合、期日に対し遅れているのか、進んでいるのかが、ひと目でわかります。テストフェーズ単位、テストサイクル単位での確認ができます。

- (1) 成分バーにカーソルを合わせると、テスト結果と件数を確認できます。



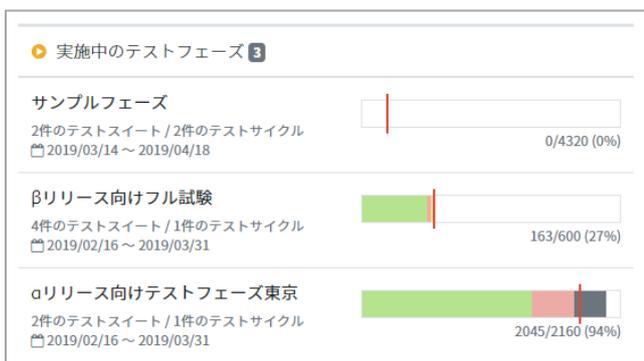
(2) 期限バーにカーソルを合わせると、当日の予定件数を確認できます。



※期限バーの予定件数に関しては予実設定画面(手順 [7.3](#) 参照)の進捗予測から反映されます。予実設定に変更がない場合はテスト件数と実施日数から自動で計算された数字が表示されます。

4.1.2. 実施中のテストフェーズ

現在実施期間中のフェーズがダッシュボード画面に一覧表示されます。



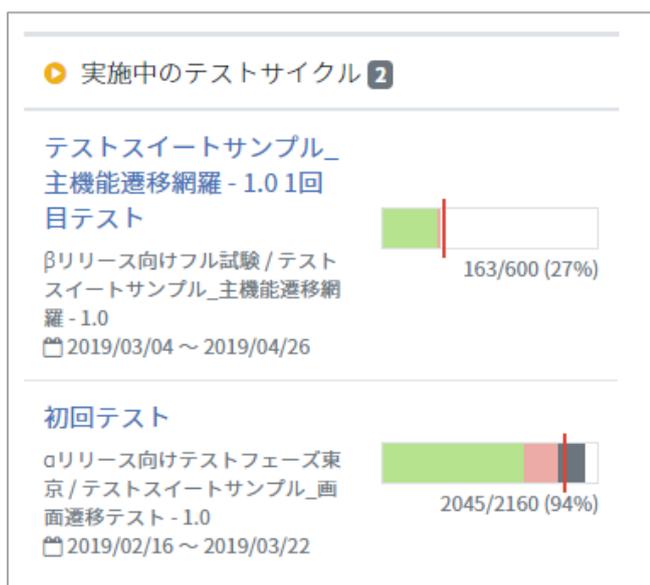
4.1.3. 最近完了したテストフェーズ

設定した終了日を過ぎたテストフェーズが最近完了したテストフェーズに表示されます。



4.1.4. 実施中のテストサイクル

テスト実行が開始されているテストサイクルがダッシュボード画面に一覧で表示されます。



4.1.5. レビュー待ちのテストサイクル

テスト実行画面でチェック依頼ボタンを押すと、そのテストサイクルがチェック待ちのテストサイクル一覧に表示されます。



4.1.6. 最近完了したテストサイクル

チェック依頼中のテストサイクルを確認し、完了ボタンを押すと最近完了したテストサイクルに表示されます。



4.2. ワークスペースで自分のタスクを確認する

テスト担当者が自身になっているテストサイクルを一覧で確認することができます。

- (1) ダッシュボード画面左のメニューから“ワークスペース”をクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト

QualityForward

ワークスペース

ダッシュボード

テストスイート

テストフェーズ

レポート

チームWiki

アラートセンター

サンプルプロジェクト

ユーザー管理

設定

VERISERVE

QualityForwardをトライアルいただいておりますユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、ほとんどのHTMLタグが利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

詳しい操作マニュアルとご利用上のTipsは画面右上の「？」マークよりご覧いただけます。

実施中のテストフェーズ 1

βリリース向け試験

4件のテストスイート / 4件のテストサイクル

📅 2020/06/01 ~ 2020/06/30

76/955 (7%)

最近完了したテストフェーズ 1

αリリース向けテストフェーズ東京

2件のテストスイート / 1件のテストサイクル

📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05

305/348 (87%)

βリリース向けフル試験

4件のテストスイート / 0件のテストサイクル

📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05

⚠️ まだデータがありません

αリリース向けテストフェーズ沖繩

2件のテストスイート / 1件のテストサイクル

📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05

348/348 (100%)

- (2) 担当テストサイクルと自身が担当していた完了済のテストサイクルの確認と実行ができます。

QualityForwardさんのワークスペース

▶ 担当テストサイクル **2** ▣ 完了したテストサイクル **1**

名前で検索

テストサイクル名 ▲	進行状況
<p>📁 αリリース向けテストフェーズ沖縄 / サンプルテスト - 1.0</p> <p>テスト中 サンプルテスト - 1.0 1回目テスト</p> <p>▼ A, B, C, D, E, F, G, H, I, J</p> <p>📅 2020/02/13 ~ 2020/02/27</p> <p>🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 予実設定 📄 xlsx 🔄 再テスト</p>	<p></p> <p>67/500 (13%)</p> <p><input type="button" value="▶ 開く"/> <input type="button" value="🗨️ コメント"/></p>
<p>📁 βリリース向けフル試験 / テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0</p> <p>未実施 テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0 1回目テスト</p> <p>▼ A</p> <p>📅 2019/11/01 ~ 2019/11/15</p> <p>🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 予実設定 📄 xlsx 🔄 再テスト</p>	<p></p> <p>0/162 (0%)</p> <p><input type="button" value="▶ 開く"/> <input type="button" value="🗨️ コメント"/></p>

第5章 テストケースの管理

本章では、実際にテストに使用するテストケースの登録方法や、管理方法について説明します。

5.1. テストスイートを作成する

テストケースを管理するためのテストスイートの作成方法について説明します。テストスイートの追加方法はテストスイート追加・エクセルインポートの2種類あります。設定は後から変更可能です。

5.1.1. テストスイートの基本設定

- (1) ダッシュボード画面左のメニューからテストスイートのリンクをクリックします。



- (2) テストスイート一覧画面右上のテストスイート追加ボタンを押します。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート **+ テストスイート追加**

▶ アクティブ 5 ▶ アーカイブ 1

キーワード タグ

名前を検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース	
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2020/02/13 13:20 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QualityForward	500件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QualityForward	144件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 🔒 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 不正系テスト ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser40	162件	カバレッジパネル 閲覧
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト 画面遷移テスト ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser40	97件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 画面遷移テスト ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QualityForward	348件	カバレッジパネル 編集

(3) テストスイートの基本情報を入力します。

テストスイートの新規追加

基本設定

必須 テストスイート名

5.1.2. テスト定義の項目を設定する

テスト項目のラベルを自由に設定できます。初期表示ではプロジェクト作成時に設定したラベルが表示されています。

(1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

テスト定義の自由項目設定

項目1のラベル

項目1を使う

項目2のラベル

項目2を使う

項目3のラベル

項目3を使う

項目4のラベル

項目4を使う

項目5のラベル

項目5を使う

(2) 使用する項目にチェックを入れます。

テスト定義の自由項目設定

項目1のラベル

項目1を使う

項目2のラベル

項目2を使う

項目3のラベル

項目3を使う

項目4のラベル

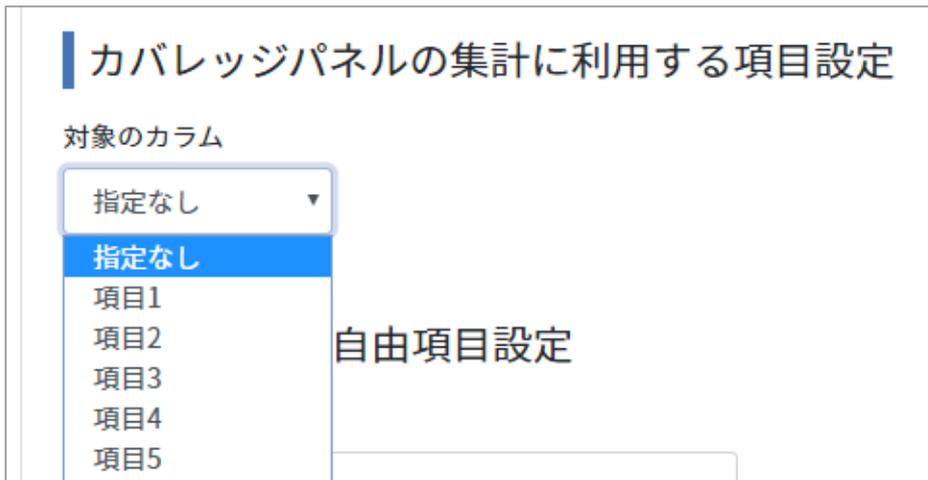
項目4を使う

項目5のラベル

項目5を使う

5.1.3. カバレッジパネルの集計に利用する項目設定

どんな機能・観点に向けたテストケースがどれぐらい存在し、そのテストがどれぐらい実行されているかを確認できるカバレッジパネルを表示します。どの項目を使って集計するかを決めることができます。ここで対象のカラムを選択している場合、このテストスイートが使われているフェーズのレポート画面でカバレッジパネルを見ることができます。



5.1.4. テスト結果の自由項目を設定する

テスト結果部に対し自由に入力できる項目が必要な場合、項目の追加とラベル設定ができます。ここで設定した項目はテスト実行画面で表示され、テスト結果に対する備考やバグ IDなどを自由に入力できるようになります。初期表示では“環境”、“バグ ID”、“備考”が設定されています。

- (1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

テスト結果の自由項目設定

項目1のラベル

環境

項目1を使う

項目2のラベル

バグID

項目2を使う

項目3のラベル

備考

項目3を使う

項目4のラベル

項目4を使う

(2) 使用する項目にチェックを入れます。

テスト結果の自由項目設定

項目1のラベル

環境

項目1を使う

項目2のラベル

バグID

項目2を使う

項目3のラベル

備考

項目3を使う

項目4のラベル

項目4を使う

5.1.5. テストブロッカーの集計に利用する項目を指定する

手順 [3.1.4](#) にてテストブロッカーを設定している場合、レポートの内訳に表示する項目を指定します。「テストブロッカーの集計に利用する項目設定」のプルダウンメニューより表示させる項目を選択してください。



5.1.6. 初期バージョンを設定する

テストスイートの新規作成時にバージョン情報を付加します。作成したテストスイートはコピーしてバージョン管理を行うことができます。

- (1) バージョン名には任意のバージョン名を入力することができます。備考欄は HTML での入力が可能です。備考欄に入力した内容はテストサイクル画面でも確認することができます。

5.1.7. ファイルを添付する

テストスイートに対しファイルを添付することができます。添付したファイルはテストケース編集画面またはテスト実行画面の関連ファイル(手順 [8.12](#) 参照)からダウンロードすることができます。

- (1) テストスイートの新規追加画面から添付ファイルの追加ボタンを押します。



初期バージョンの設定

必須 バージョン名

1.0

●バージョン名には任意の文字列を使用することができます

管理者

▼

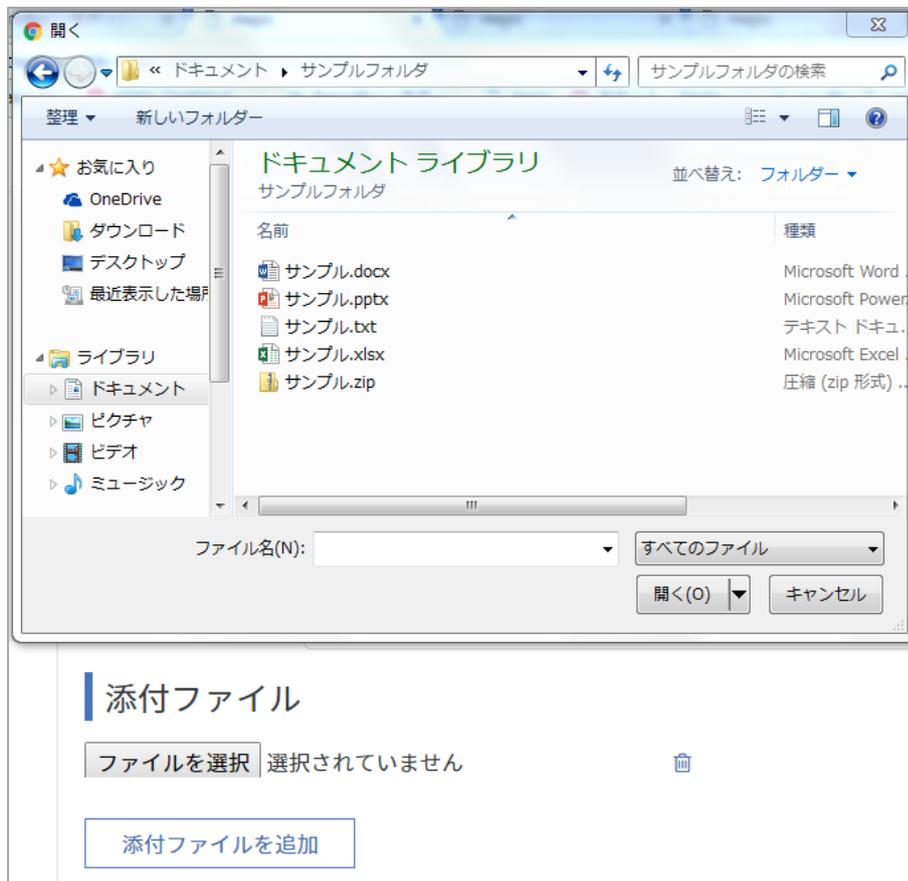
備考

添付ファイル

添付ファイルを追加

登録する

- (2) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、添付したいファイルを選択し開くボタンを押します。



- (3) 入力を終わったら登録するボタンを押します。

5.1.8. テストスイートを検索する

テストスイート一覧ではテストスイートをキーワードで検索したり、テストスイートの管理者で絞り込むことができます。

テストスイートにタグを設定している場合はタグ検索も行えます。(手順 [5.7.2](#) 参照)

- (1) テストスイート一覧の上部でキーワードタブを選択し、キーワードを入力または管理者で絞り込みのリストから対象の管理者を選択します。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

アクティブ 5 アーカイブ 1

キーワード タグ

名前を検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 直近の実行時間：未集計 作成日時：2020/02/13 13:20 設定 コピー xlsx	QualityForward	500件 カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 直近の実行時間：未集計 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QualityForward	144件 カバレッジパネル 編集
	利用可 2.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 不正系テスト 直近の実行時間：未集計 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QFuser40	162件 カバレッジパネル 閲覧

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

アクティブ 5 アーカイブ 1

キーワード タグ

名前を検索 管理者で絞り込み 検索

管理者で絞り込み
管理者で絞り込み

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 直近の実行時間：未集計 作成日時：2020/02/13 13:20 設定 コピー xlsx	QualityForward	500件 カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 直近の実行時間：未集計 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QualityForward	144件 カバレッジパネル 編集
	利用可 2.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 不正系テスト 直近の実行時間：未集計 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QFuser40	162件 カバレッジパネル 閲覧

(2) キーワードとテストスイート管理者の組み合わせでも検索することができます。

キーワード タグ

リリース前 QualityForward 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 直近の実行時間：未集計 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QualityForward	144件 カバレッジパネル 編集

5.2. テストケース取込

テストケースはエクセルファイルからインポートすることも可能です。上書きやケースをまとめ

て追加する際などはテストケース編集画面のテストケース取込を使用します。

※本機能でサポートしているファイル拡張子は xlsx 形式になります。

5.2.1. テストケース取込

テストケース取込を使用する場合、識別 ID に既に存在する ID を指定するとその識別 ID のテストケースに対する上書きが行われ、存在しない識別 ID を指定するとテストケースが追加されます。

- (1) テストケース取込画面で表示されているフォーマットに合わせたエクセルシートを整形します。項目を変更したい場合はテストスイートの設定から変更を行います。(手順 [5.5](#) 参照)

テストケースの取込

このテストスイートでは以下のフォーマットのエクセルが取り込めます。
ブックの一番左側のシートのみが対象となり、他のシートは無視されます。

識別ID	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプル	サンプル	サンプル	サンプル
...

* excelファイル(.xlsx) 選択されていません

手順 1: テストケースが記述されている部分のみを残して、左上を A-1 セルに合わせます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2	事前条件
	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls	Aegisにログインし、テスト環境へ移行する (https://aegis-staging.apps.com/projects/1)
2	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx	Aegisにログインし、テスト環境へ移行する (https://aegis-staging.apps.com/projects/1)

手順 2 : A 列に左から “識別 ID”、 “優先度” 列を挿入します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
	識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1		A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2		A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

以下のようなシートをインポートする場合は

	識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1		A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2		A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

下図のようにラベルを設定します。

識別 ID と優先度列をさきほど追加しましたが、この 2 列は自動でラベル付けされるので、ここで設定していくのは、優先度 の右隣、3 列目からになります。

テスト結果の自由項目設定

項目1のラベル

項目1を使う

項目2のラベル

項目2を使う

項目3のラベル

項目3を使う

項目4のラベル

項目4を使う

項目5のラベル

※識別 ID はテストケース取込時に必須の項目です。テストケースを更新したり追加したりする場合に、識別 ID を頼りに行います。

※優先度は特に定義がない場合はすべて A で構いません。優先度を設定しなかった場合、テスト実行画面ではグレーアウトされた行になり、テストケース数としてもカウントされません。テストケースではないが、補足的に利用したい行として活用できます。

	優先度	項目1	項目2	項目3	
1		正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]であること テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと 	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生せず移ること 「〇件のテストケース」されること インポートしたテストケース
2	A	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]以外であること テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと 	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	<ul style="list-style-type: none"> エラーメッセージ「サポート対象外のファイル」が表示されること

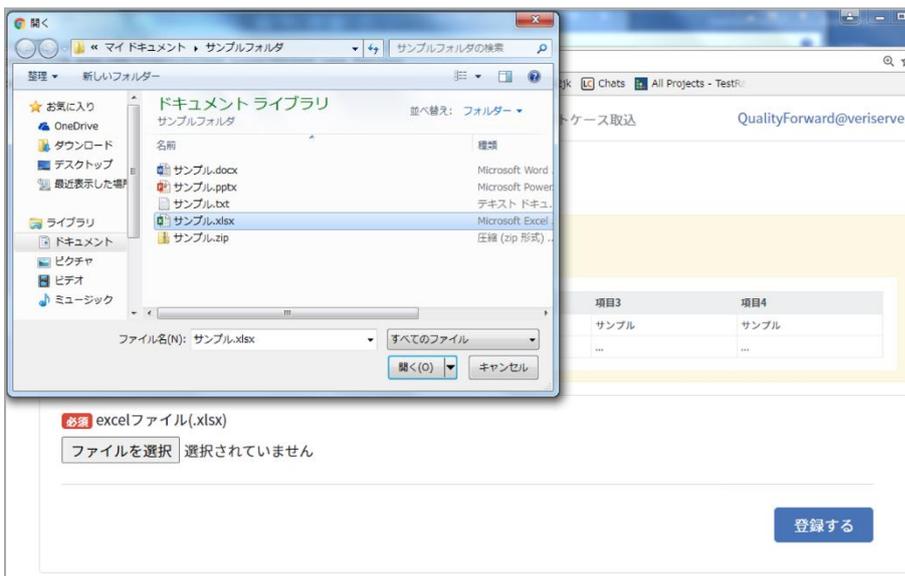
- (2) ファイルの用意ができたならテストケース一覧画面右上にあるテストケース取込ボタンを押します。



(3) ファイルの準備が整ったら「ファイルを選択」ボタンを押してください。



(4) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。



(5) ファイルを選択したら登録ボタンを押します。

5.3. Excel インポート

Excel インポートでは「5.1.テストスイートを作成する」の手順を踏まずに、エクセルで作成したテストケースを取り込むことでテストスイートを作成することができます。

※本機能でサポートしているファイル拡張子は xlsx および xlsm 形式になります。

5.3.1. Excel インポート

エクセルファイルで作成したテストケースをインポートすることができます。

- (1) テストスイート一覧画面右上の excel インポートボタンを押します。



テストスイート一覧

タグリスト excelインポート + テストスイート追加

アクティブ 5 アーカイブ 1

キーワード タグ

名前で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2020/02/13 13:20 設定 コピー xlsx	QualityForward	500件 カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QualityForward	144件 カバレッジパネル 編集
	利用可 2.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 不正系テスト ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QFuser40	162件 カバレッジパネル 閲覧

- (2) テストスイート名を入力し、ファイルを選択ボタンを押します。



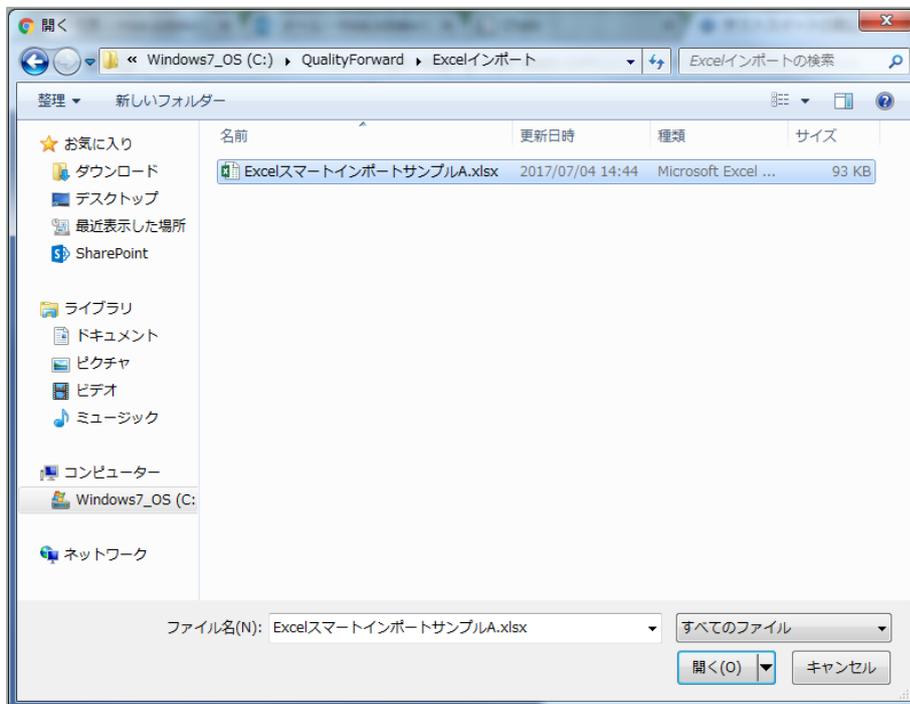
1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

必須 excelファイル(xlsx および xlsm形式)
ファイルを選択 選択されていません

必須 テストスイート名

次へ

- (3) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。



(4) ファイルを選択したら次へボタンを押します。



(5) インポートするシートを選択し、次へボタンを押します。



(6) 一番左のラジオボタンで項目行を選択します。選択した行が項目名としてテストスイートに登録されます。

excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートを選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

左側のラジオボタンで取込開始行を、上部のチェックボックスで取り込む列を指定できます。 カラム数： 0 / 25

	ふがふが	A	B	C	D	E	F
ほげほげ	ふがふが	A	B	C	D	E	F
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイル閉じタグが存在する
2	A	16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイル閉じタグが含まれること
3	A	11	プロジェクトの更新/削除	プロジェクトの更新/削除	プロジェクト情報の削除が正しく行われること	プロジェクトの削除を行った場合	・任意の成してお
4	A	11				プロジェクトの削除を行った場合	・任意の成してお
5	A	25	テストサイクル一覧	テストスイートエクスポート	テストスイートに登録されたテストケース一覧が正常にエクスポートされることを確認する	テストケースが0件の場合	・テストしていない対象としてを作成し

戻る 次へ

- (7) 上部のチェックボックスで取り込む列を選択します。取り込み時にチェックボックスがオンになっているので不要な列のチェックを外します。標準で最大 25 列まで選択することができます。(申込時オプションにより異なります)取り込まれる列は緑色で表示されます。列の選択が完了したら次へボタンを押します。

excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートを選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

左側のラジオボタンで取込開始行を、上部のチェックボックスで取り込む列を指定できます。 カラム数： 7 / 25

<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	ふがふが	A	B	C	D	E	F
ほげほげ	ふがふが	A	B	C	D	E	F
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイル閉じタグが存在する
2	A	16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイル閉じタグが含まれること
3	A	11	プロジェクトの更新/削除	プロジェクトの更新/削除	プロジェクト情報の削除が正しく行われること	プロジェクトの削除を行った場合	・任意の成してお
4	A	11				プロジェクトの削除を行った場合	・任意の成してお
5	A	25	テストサイクル一覧	テストスイートエクスポート	テストスイートに登録されたテストケース一覧が正常にエクスポートされることを確認する	テストケースが0件の場合	・テストしていない対象としてを作成し

戻る 次へ

(8) 確認画面に遷移するので、優先度の設定がある場合は優先度を入力してあるカラムを選択します。指定なしの場合は全てのテストケースに「A」が付与されます。

※優先度は「A~J」のいずれかを指定できます。それ以外の文字は全て空欄で登録されます。

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

1行目をヘッダとして、2行目以降がテストケースとして取り込まれます。ここでは最大で50件のみ表示しています。
優先度カラムは「A, B, C, D, E, F, G, H, I, J」を取り込みます。「指定なし」を選んだ場合、優先度の値が認識できない場合は「A」として取り込まれます。

優先度カラム
指定なし

ID	優先度	説明
3	A	16
4	A	16

戻る 512件を取り込む

(9) 間違いがなければ取り込むボタンを押します。選択し直す場合は戻るボタンを押します。

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

1行目をヘッダとして、2行目以降がテストケースとして取り込まれます。ここでは最大で50件のみ表示しています。
優先度カラムは「A, B, C, D, E, F, G, H, I, J」を取り込みます。「指定なし」を選んだ場合、優先度の値が認識できない場合は「A」として取り込まれます。

優先度カラム
指定なし

識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[xlsx]であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと
2	A	16				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと
3	A	16				設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストスイートであること
4	A	16				設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が2つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が1つのテストスイートであること

戻る 512件を取り込む

5.4. テストケース作成

テストスイートの作成を終えたら、テストケースの追加を行います。ケースの追加方法は2種類（オンライン編集・エクセルインポート）あります。

5.4.1. オンライン編集

WEB画面上でテストケースの追加を行います。

- (1) 作成したテストスイートを開きます。

サンプルスイート2 - 1.0のテストケース編集

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

(2) 各項目に直接入力を行えます。入力内容は自動で保存されます。

サンプルシート2-1.0のテストケース編集

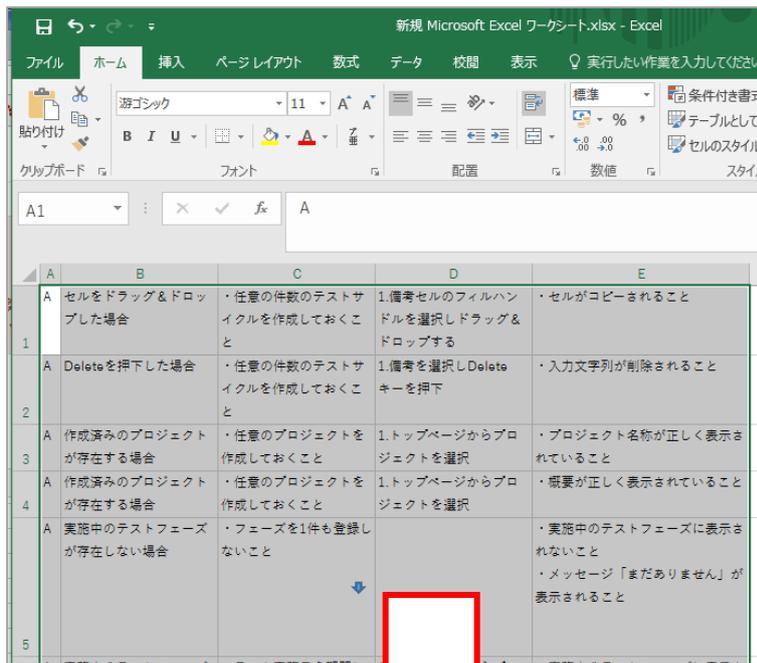
	優先度 ▾	項目1 ▾	項目2 ▾	項目3 ▾	項目4 ▾
1	A	サンプルデータ			
2	B				
3	C				
4	A				
5	A				
6					

(3) Excel のオートフィルのように簡単にコピーができます。

サンプルシート2-1.0のテストケース編集

	優先度 ▾	項目1 ▾	項目2 ▾	項目3 ▾	項目4 ▾
1	A	サンプルデータ			
2	B	サンプルデータ			
3	C	サンプルデータ			
4	A	サンプルデータ			
5	A	サンプルデータ			
6					
7					

(4) Excel からコピーしてそのまま貼り付けることも可能です。



テストスイートのテストケース

サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)

	優先度 ▾	項目1 ▾	項目2 ▾	項目3 ▾	項目4 ▾
235	A	セルをドラッグ&ドロップした場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考セルのフィルハンドルを選択しドラッグ&ドロップする	・セルがコピーされること
236	A	Deleteを押下した場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考を選択しDeleteキーを押下	・入力文字列が削除されること
237	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・プロジェクト名称が正しく表示されていること
238	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・概要が正しく表示されていること
239	A	実施中のテストフェーズが存在しない場合	・フェーズを1件も登録しないこと		・実施中のテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること
240	A	実施中のテストフェーズが存在しない場合	・テスト実施日を期間に含むフェーズが1件もないこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・実施中のテストフェーズに表示されないこと
241	A	完了したテストフェーズが存在しない場合	・フェーズ終了日がテスト実施日より前のフェーズが存在しないこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・完了したテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること

(5) 列の幅も自由に変更可能です。

サンプルスイート2 - 1.0のテストケース編集

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプルデータ			
2	B	サンプルデータ			
3	C	サンプルデータ			
4	A	サンプルデータ			
5	A	サンプルデータ			
6					
7					

(6) テストケースにフィルタをかけ、まとめて編集も可能です。

(7) テキストでフィルタをかける場合は、一度クリアをクリックしてからテキスト入力を行い、表示されたフィルタにチェックを入れます。

(8) また、Ctrl+F でテストケースのキーワード検索を行うことができます。検索したいキーワードを入力し、Enter を押すと検索にヒットしたセルがフォーカスされます。

トップ / 00.【QFシステムテスト】リリース向けテスト【QFサポートチーム専用】 / テストスイート一覧 / 001.QFシステムテスト1 - 1.0

インポート 1/158 ↑ ↓ ×

001.QFシステムテスト1 - 1.0のテストケース編集 + テストケース取込

	テスト要素	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件	テスト手順	期待動作
1	テストケースインポート	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]であること テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと 	<ol style="list-style-type: none"> [ファイルを選択ボタン]をクリックする インポートするファイルをクリックする [登録するボタン]をクリックする 	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生せず、一覧画面に遷移すること 「〇件のテストケースを追加した」と表示されること インポートしたテストケースが表示されること
2	テストケースインポート				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]以外であること テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと 	<ol style="list-style-type: none"> [ファイルを選択ボタン]をクリックする インポートするファイルをクリックする [登録するボタン]をクリックする 	<ul style="list-style-type: none"> エラーメッセージ「サポート対象外のファイルを取り込んだ」と表示されること
3	テストケースインポート				設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> 項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと 項目数が2つ以上のテストケースであること 	<ol style="list-style-type: none"> [ファイルを選択ボタン]をクリックする インポートするファイルをクリックする [登録するボタン]をクリックする 	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生せず、一覧画面に遷移すること 「〇件のテストケースを追加した」と表示されること 2つ目以降の項目は表示されていないこと

5.5. テストスイート設定を変更・削除する

テストスイートの情報を変更・削除する方法を説明します。テストスイートの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

5.5.1. テストスイート設定を変更する

(1) テストスイート一覧画面から変更したいテストスイート名下の設定をクリックします。

テストスイート一覧

タグリスト excel-インポート +テストスイート追加

▶ アクティブ 5 ■ アーカイブ 1

キーワード タグ

名前を検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2020/02/13 13:20 🔗 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QualityForward	500件 カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 🔒 (主機能テスト) (通信機能テスト) (画面遷移テスト) ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 🔗 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QualityForward	144件 カバレッジパネル 編集
	利用可 2.0 🔒 🔒 (主機能テスト) (通信機能テスト) (画面遷移テスト) (不正系テスト) ○ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2019/10/24 11:31 🔗 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser40	162件 カバレッジパネル 閲覧

(2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

5.5.2. テストスイートをアーカイブする

テストスイートもプロジェクトと同様にアーカイブし、整理することができます。アーカイブはプロジェクト管理者以上の権限を持つユーザのみ実行できます。テストスイート一覧からプロジェクトを除外する機能のため、これまで同様編集を行うことが可能です。

(1) アーカイブしたいテストスイートの設定をクリックします。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート +テストスイート追加

▶ アクティブ 5 ▶ アーカイブ 1

キーワード タグ

名前で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース	
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ◎ 直近の実行時間：未集計 ☰ 作成日時：2020/02/13 13:20 設定 コピー xlsx	QualityForward	500件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ◎ 直近の実行時間：未集計 ☰ 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QualityForward	144件	カバレッジパネル 編集
	利用可 2.0 🔒 [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] [不正系テスト] ◎ 直近の実行時間：未集計 ☰ 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QFuser40	162件	カバレッジパネル 閲覧

(2) テストスイート設定画面下部のアーカイブするボタンを押します。

テストスイートのアーカイブ

注意！

テストスイートをアーカイブすると一覧に表示されなくなります。
削除とは異なりデータは削除されません。

アーカイブする

(3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

サンプルテストケース.xlsxをアーカイブしても宜しいですか？

OK キャンセル

(4) テストスイート一覧のアーカイブタブをクリックするとアーカイブしたテストスイートを見ることができます。アーカイブしたテストスイートを元に戻すことも可能です。同様の手順でアーカイブから戻すボタンを押すとアクティブなテストスイート一覧に表示されます。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート +テストスイート追加

▶ アクティブ 6 **アーカイブ 1**

キーワード タグ

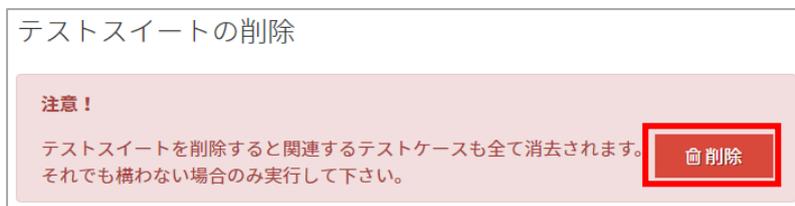
名前で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルテスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ◎ 最近の実行時間：未集計 📅 作成日時：2020/02/13 13:20 設定 コピー xlsx	QualityForward	500件 カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用不可 1.0 [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] ◎ 最近の実行時間：未集計 📅 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QualityForward	144件 カバレッジパネル 編集
	利用可 2.0 [主機能テスト] [通信機能テスト] [画面遷移テスト] [不正系テスト] ◎ 最近の実行時間：未集計 📅 作成日時：2019/10/24 11:31 設定 コピー xlsx	QFuser40	162件 カバレッジパネル 閲覧

5.5.3. テストスイートを削除する

テストスイートの削除はテストスイート設定画面から行うことができます。テストスイートを削除するとそのテストスイートが持つバージョン情報も全て削除されます。

- (1) テストスイート設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



※いずれかのバージョンがテストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。(手順 [5.5.4](#) 参照)

テストスイートの削除

注意！

このテストスイートは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。

- テストフェーズ3

5.5.4. テストフェーズとの紐付けの解除方法

テストスイートはテストフェーズと紐づけられている場合、削除することができません。テストフェーズとの紐付けを解除するには、テストフェーズを削除（手順 [6.3.3](#) 参照）するか、テストフェーズの紐付け設定を変更する必要があります。

※いずれの操作でもテストフェーズ配下のテストサイクルは削除されますので、必要に応じてテストサイクルのエクスポートを行ってください。

- (1) テストスイートの設定より紐付けられているテストフェーズを確認します。

テストスイートの削除

注意！

このテストスイートは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。

- サンプルテストフェーズD

- (2) 操作画面左側のメニューからテストフェーズを選択し、対象のテストフェーズの欄の「設定」をクリックします。テストフェーズの設定画面に遷移すると、紐付けを解除したいテストスイートが使用中のため、解除できない状態であることが確認できます。

トップ / Sample project / テストフェーズ一覧

テストフェーズ一覧

▶ アクティブ 8 📁 アーカイブ 0

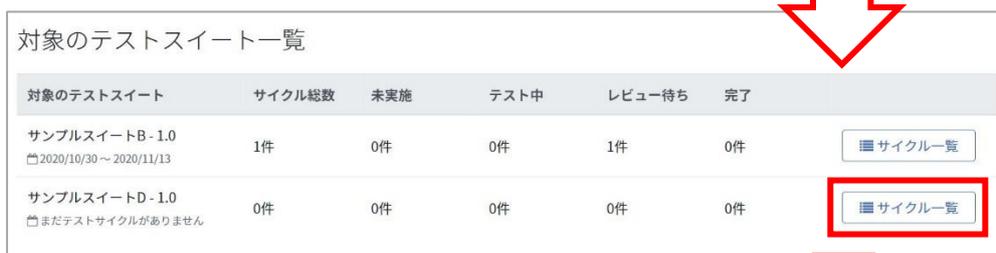
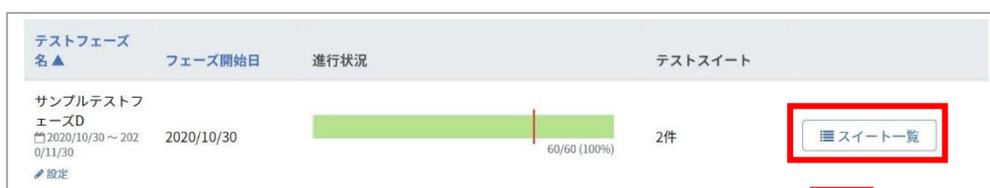
名前を検索

テストフェーズ名 ▲

サンプルテストフェーズD 📅 2020/10/30 ~ 2020/11/30	設定
サンプルテストフェーズA 📅 2020/10/08 ~ 2020/11/12	設定



- (3) テストフェーズ一覧画面に戻り、任意の「スイート一覧」ボタン、「サイクル一覧」ボタンを押下し、対象のテストサイクルの「設定」ボタンを押します。



- (4) テストサイクルの設定画面下部、「テストサイクルの削除」より「削除」ボタンを押してテストサイクルを削除します。



(5) 手順(2)と同様の操作でテストフェーズの設定画面へ遷移します。

「テストスイートの紐付け」の「選択したもの」内にて、テストサイクルを消去したテストスイートから「使用中」の表示がなくなり、項目を移動させることができます。

テストスイートの紐付け

選択可能なもの (1件、60 テストケース)

名前かタグ名で検索

サンプルスイートC-1.0
🔍 テストケース: 60 件
🕒 直近の実行時間: 0.1
📅 作成日時: 2020/10/08 13:39 (管理者無し)

選択したもの (2件、76 テストケース)

名前かタグ名で検索

使用中 サンプルスイートB-1.0
🔍 テストケース: 60 件
🕒 直近の実行時間: 0.0
📅 作成日時: 2020/10/08 13:40 (管理者無し)

サンプルスイートD-1.0
🔍 テストケース: 16 件
🕒 直近の実行時間: 未集計
📅 作成日時: 2020/10/30 11:14 (管理者無し)

連携するBTS

BTS連携に利用するのは各個人のクレデンシャルではなく、専用に作成した物をご利用ください。

BTS

なし

更新する

(6) 対象のテストスイートをクリックして「選択可能なもの」へ移動後、「更新する」ボタンを押すと紐付けの解除が完了します。

テストスイートの紐付け

選択可能なもの (2件、76 テストケース)

名前かタグ名で検索

サンプルスイートC-1.0
🔍 テストケース: 60 件
🕒 直近の実行時間: 0.1
📅 作成日時: 2020/10/08 13:39 (管理者無し)

サンプルスイートD-1.0
🔍 テストケース: 16 件
🕒 直近の実行時間: 未集計
📅 作成日時: 2020/10/30 11:14 (管理者無し)

選択したもの (1件、60 テストケース)

名前かタグ名で検索

使用中 サンプルスイートB-1.0
🔍 テストケース: 60 件
🕒 直近の実行時間: 0.0
📅 作成日時: 2020/10/08 13:40 (管理者無し)

連携するBTS

BTS連携に利用するのは各個人のクレデンシャルではなく、専用に作成した物をご利用ください。

BTS

なし

更新する

5.6. テストスイートにヘッダを追加する

テストスイートのヘッダ行を追加しカスタマイズすることができます。※7行までを推奨しています

(1) テストスイート一覧から追加ヘッダ設定をクリックします。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート + テストスイート追加

▶ アクティブ 4 ◻ アーカイブ 0

キーワード タグ

テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース	
サンプルスイートA 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2020/10/20 18:52 設定 コピー xlsx	指定なし	10件	カバレッジパネル 編集
サンプルスイートB 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ① 直近の実行時間: 約 0.0 時間 ② 作成日時: 2020/10/08 13:40 設定 コピー xlsx	指定なし	60件	カバレッジパネル 編集

(2) 追加ヘッダは JSON 形式で入力することができます。

テストスイートの追加ヘッダ設定

追加ヘッダ設定 ヘルプ

```
1- [ ]
2- ]
```

プレビュー

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考

更新する

(3) 入力を行うと実際に表示される形式でプレビューができます。

テストスイートの追加ヘッダ設定

追加ヘッダ設定

ヘルプ

```

1 [
2   ["sample1_1", "sample1_2", "sample1_3", "sample1_4"],
3   ["sample2_1", {"label": "sample_2_2", "colspan": 3}, "sample2_5"]
4 ]

```

プレビュー

sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4							
sample2_1	sample_2_2			sample2_5						
優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグ

更新する

※入力方法が不明な場合は画面右上のヘルプをご参照ください。

(4) 追加したヘッダはテストサイクルにも反映されます。

sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4	sample1_5	期待動作	テスト実施者	
sample2_1	sample_2_2			sample2_5			
優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	
1	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	
2	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	
3	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	
4	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	
5	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	
6	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能D → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	

5.7. 新しいバージョンのテストスイートを作成する

テストスイートは複製してバージョン管理することができます。既にあるテストスイートを元に変更を行いたい場合や、前回のテストから一部のテストケースを抜粋してテストしたい時などに使

用できます。

5.7.1. 新しいバージョンの基本設定

- (1) テストスイート一覧から元にしたいたいテストスイートバージョンのコピーをクリックします。



The screenshot shows the 'テストスイート一覧' (Test Suite List) page. At the top right, there are buttons for 'タグリスト', 'excelインポート', and '+ テストスイート追加'. Below these are filters for 'アクティブ' (4) and 'アーカイブ' (0). A search bar is present with a search button. The main table has columns for 'テストスイート名', 'バージョン名', '管理者', and 'テストケース'. Two test suites are listed: 'サンプルスイートA' and 'サンプルスイートB'. For 'サンプルスイートA', the 'バージョン名' column shows '利用可 1.0' and a 'コピー' button is highlighted with a red box. The 'テストケース' column shows '10件' and buttons for 'カバレッジパネル' and '編集'.

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルスイートA 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2020/10/20 18:52 設定 コピー xlsx	指定なし	10件 カバレッジパネル 編集
サンプルスイートB 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ① 直近の実行時間: 約 0.0 時間 ② 作成日時: 2020/10/08 13:40 設定 コピー xlsx	指定なし	60件 カバレッジパネル 編集

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



The screenshot shows a confirmation dialog box with the text '1.0をもとにして新しいバージョンを作成します。よろしいですか?' (Create a new version based on 1.0. Is it okay?). There are two buttons: 'OK' and 'キャンセル'. The 'OK' button is highlighted with a red box.

- (3) コピーしたテストスイートのバージョン設定画面に遷移したら、任意のバージョン名を入力します。

テストスイートサンプル_リリース前試験のバージョン設定

基本設定

必須 バージョン名

1.0

タグ

Ⓢ タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

ステータス

利用不可

備考

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます
ロックすることでこのバージョンを読込専用にすることができます

ロックする

一言メモ

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

5.7.2. テストスイートバージョンにタグ付けをする

テストスイートへタグを設定することで、大量にあるテストスイートも管理しやすくなります。

- (1) タグはカンマ区切りで複数設定することができます。

基本設定

必須 バージョン名

1.0

タグ

主機能テスト,通信機能テスト,画面遷移テスト

Ⓜタグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

QualityForward

ステータス

利用不可

備考

このテストスイートはQualityForwardの機能をお試しいたぐためのサンプルです。
テストスイートの備考欄は、プロジェクト概要と同様にほとんどのHTMLタグや画像挿入機能が利用できます。

(2) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

(3) テストスイート一覧に入力したタグが表示されるようになります。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート + テストスイート追加

▶ アクティブ 4 ◻ アーカイブ 0

キーワード タグ

テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルスイートA <small>設定 追加ヘッダ設定</small>	利用可 1.0 主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト <small>① 直近の実行時間: 未集計</small> <small>📅 作成日時: 2020/10/20 16:52</small> <small>設定 コピー xlsx</small>	指定なし	10件 <small>カバレッジパネル 編集</small>
サンプルスイートB <small>設定 追加ヘッダ設定</small>	利用可 1.0 <small>① 直近の実行時間: 約 0.0 時間</small> <small>📅 作成日時: 2020/10/08 13:40</small> <small>設定 コピー xlsx</small>	指定なし	60件 <small>カバレッジパネル 編集</small>

(4) キーワード検索横のタグのタブをクリックすることで、タブ名で検索し絞り込むことができます。※タグを検索する場合は完全一致である必要があります。



- (5) また、テストスイート一覧の右上にあるタグリストから絞り込むことも可能です。



- (6) タグリストから絞り込みたいタグ名をクリックします。



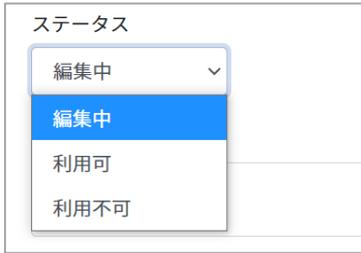
- (7) 選択したタグで絞り込まれます。



5.7.3. テストスイートバージョンのステータスを設定する

テストスイートの各バージョンはステータスを設定することにより、テスト実施対象とすることができます。

- (1) ステータスを利用可に設定することでテストフェーズに紐付けることが可能となります。編集集中または利用不可の場合はテストフェーズ紐付け画面に表示されません。



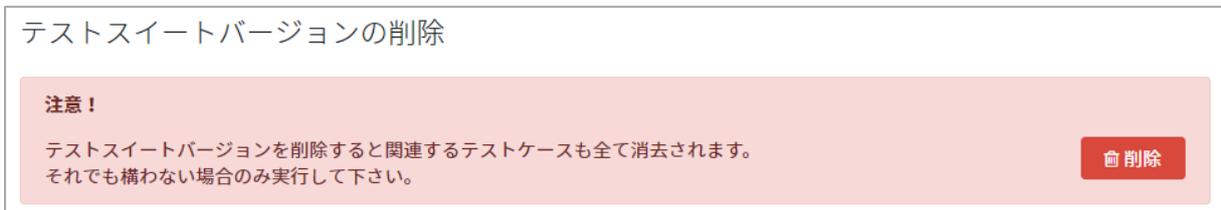
- (2) 入力が終わったら更新するボタンを押します。



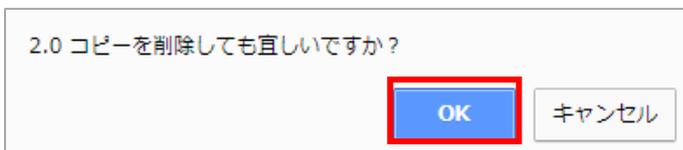
5.8. テストスイートバージョン設定を変更・削除する

テストスイートのバージョンはバージョン毎に設定画面から削除することができます。

- (1) バージョン設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



※テストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートバージョンを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。

テストスイートバージョンの削除

注意！

このテストスイートバージョンは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。

- テストフェーズ2
- テストフェーズ1

5.9. テストスイートをロックする

作成したテストスイートはロックをかけることができます。ロックのかかったテストスイートは編集ができず、閲覧のみが可能となります。テナント管理者またはプロジェクト管理者がロック・ロック解除をすることができます。

(1) ロックしたいテストスイートのバージョンの設定画面を開きます。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

アクティブ 4 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルスイートA 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2020/10/20 18:52 設定 コピー xlsx	指定なし	10件 カバレッジパネル 編集
サンプルスイートB 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ① 直近の実行時間：約 0.0 時間 ② 作成日時：2020/10/08 13:40 設定 コピー xlsx	指定なし	60件 カバレッジパネル 編集

(2) 設定画面のロック設定の「ロックする」にチェックを入れます。

基本設定

必須 バージョン名
1.0

タグ

Ⓜ タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

ステータス
利用不可

備考

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます
ロックすることでこのバージョンを読込専用にすることができます

ロックする

一言メモ

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

(3) 一言メモは任意でご入力いただけます。

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます
ロックすることでこのバージョンを読込専用にすることができます

ロックする

一言メモ

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

- (4) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます
ロックすることでこのバージョンを読込専用にすることができます

ロックする

一言メモ

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

- (5) テストスイート一覧のバージョン名横に鍵マークが表示され、対象のテストスイートは閲覧のみが可能となります。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

アクティブ 0 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストサイクル名で検索 管理者で絞り込み 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
サンプルスイートA 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 [ロックマーク] [機能テスト] [連携機能テスト] [画面遷移テスト] ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2020/10/20 18:52 設定 コピー xlsx	指定なし	10件 カバレッジパネル 閲覧
サンプルスイートB 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ① 直近の実行時間: 約 0.0 時間 ② 作成日時: 2020/10/08 13:40 設定 コピー xlsx	指定なし	60件 カバレッジパネル 編集

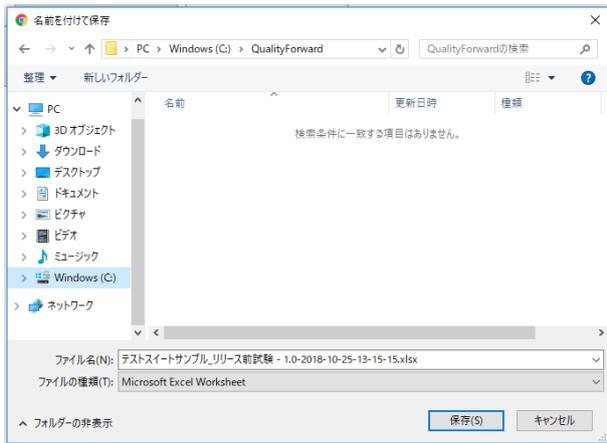
5.10. テストスイートをダウンロードする

オンラインで作成したテストケースは Excel 形式でダウンロードして保存しておくことが可能です。

- (1) テストスイート一覧画面を開き、ダウンロードしたいテストスイートのバージョン下部にある xlsx をクリックします。



(2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、ファイル名を入力し保存ボタンを押します。



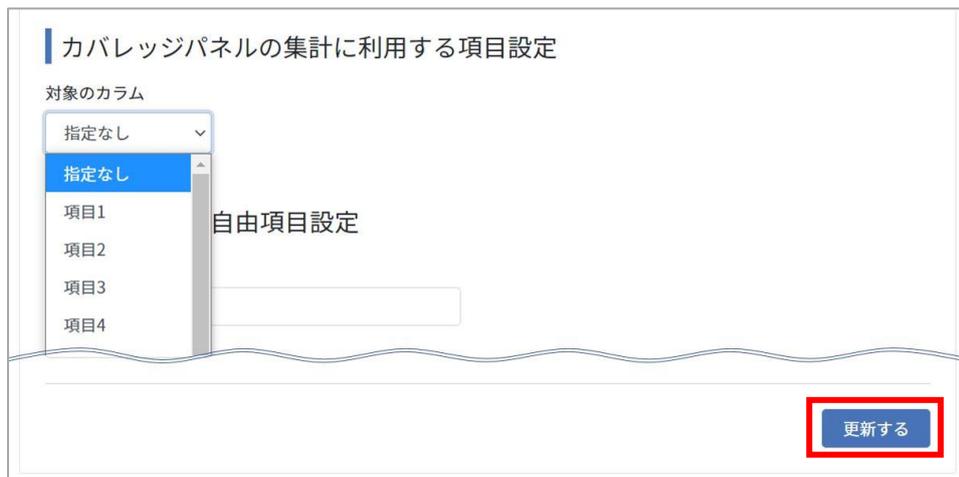
5.11. カバレッジパネルを利用する

作成したテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在するかを確認できます。このカバレッジパネルはテストの進捗には影響されません。

(1) テストスイート一覧で確認したいテストスイートの設定画面を開きます。



- (2) カバレッジパネルの集計に利用する項目を選択します。項目を選択後、ページ下部の「更新する」ボタンを押してテストスイート一覧画面へ戻ります。



- (3) テストスイート一覧右側にあるカバレッジパネルボタンを押します。



- (4) カバレッジパネルが表示されます。ここで集計されている件数はテスト対象(優先度の入力がある)となるテストケース数です。

テストスイートサンプル_リリース前試験 - 1.0 のカバレッジパネル

機能Aが実行できる状態にする	機能が実行できる状態にする	機能が実行できる状態にする
機能が実行できる状態にする 45件 機能が実行できる状態にする	機能が実行できる状態にする	

第6章 テストフェーズの管理

本章では、テストを進めていく際のフェーズの管理について説明します。

6.1. テストフェーズを作成する

テストサイクルを管理するためのテストフェーズの作成方法について説明します。設定は後から変更可能です。

6.1.1. テストフェーズの基本設定

- (1) ダッシュボード画面左のメニューからテストフェーズのリンクをクリックします。



- (2) テストフェーズ一覧画面右上のテストスイート追加ボタンを押します。



- (3) テストフェーズの基本情報を入力します。「レビュー者のメールアドレス」はテスト実施後に実施内容を確認する担当者のメールアドレスを入力します。(テスト実施後のワークフローについては、手順 [8.10](#) をご参照ください)

テストフェーズの新規追加

基本設定

必須 テストフェーズ名

必須 フェーズ開始日

必須 フェーズ終了日

レビュー者のメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

紐づけられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

- (4) 紐付けられているテストスイートのテストサイクルを自動生成するチェックボックスをオンにしてテストフェーズを作成すると、紐付けたテストスイートそれぞれのテストサイクルが1件ずつ自動で作成されます。

テストフェーズの新規追加

基本設定

必須 テストフェーズ名

必須 フェーズ開始日

必須 フェーズ終了日

レビュー者のメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

紐づけられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

6.1.2. 対象のテストスイートバージョンを設定する

テストフェーズに紐付けるテストスイートバージョンを選択します。ステータスが利用可となっているテストスイートバージョンが表示されます。左側の選択可能なもののボックスから対象としたいテストスイートバージョンを選択すると、右側の選択したもののボックスに移動します。

右側の選択したものに表示されているテストスイートバージョンがこのテストフェーズの対象となります。



6.2. BTS 連携を行う

QualityForward は BTS との連携機能を備えています。連携可能な BTS は Redmine および JIRA になります。

BTS 連携をすることでレポート機能への紐づけや実行画面からワンクリックで起票を行うことができます。詳しい設定方法については「BTS 連携マニュアル」をご確認ください。

6.3. テストフェーズ設定を変更・削除する

テストフェーズの情報を変更・削除する方法を説明します。テストフェーズの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

6.3.1. テストフェーズ設定を変更する

- (1) テストフェーズ一覧画面から変更したいテストフェーズ名下の設定をクリックします。

テストフェーズ名 ▲	フェーズ開始日	進行状況	テストスイート
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 設定	2020/05/24	 305/348 (87%)	2件 スイート一覧
αリリース向けテストフェーズ沖縄 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 設定	2020/05/24	 348/348 (100%)	2件 スイート一覧
βリリース向けフル試験 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 設定	2020/05/24	⚠️ まだデータがありません	4件 スイート一覧
βリリース向け試験 📅 2020/06/01 ~ 2020/06/30 設定	2020/06/01	 76/970 (7%)	4件 スイート一覧

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

※テストサイクルを作成済みのテストスイートバージョンは紐づけから外すことができません。

6.3.2. テストフェーズをアーカイブする

プロジェクトやテストスイートと同様にテストフェーズもアーカイブすることができます。

テストフェーズをアーカイブするとプロジェクト全体の集計から除外されます。テストフェーズのアーカイブはプロジェクト管理者以上の権限が必要です。

- (1) テストフェーズ一覧からアーカイブしたいテストフェーズの設定をクリックします。

テストフェーズ一覧 + テストフェーズ追加

▶ アクティブ 4 ▣ アーカイブ 0

名前で検索

テストフェーズ名 ▲	フェーズ開始日	進行状況	テストスイート
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 設定	2020/05/24	<div style="width: 87%;"><div style="width: 87%;"></div></div> 305/348 (87%)	2件 <input type="button" value="≡ スイート一覧"/>
αリリース向けテストフェーズ沖縄 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 設定	2020/05/24	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div> 348/348 (100%)	2件 <input type="button" value="≡ スイート一覧"/>
βリリース向けフル試験 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 設定	2020/05/24	⚠ まだデータがありません	4件 <input type="button" value="≡ スイート一覧"/>

- (2) テストフェーズ設定画面の下部にあるアーカイブするボタンを押します。

テストフェーズのアーカイブ

注意！

テストフェーズをアーカイブすると一覧に表示されなくなります。
削除とは異なりデータは保持されます。

- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

αリリース向けテストフェーズ東京をアーカイブしても宜しいですか？

- (4) アーカイブしたテストフェーズはテストフェーズ一覧のアーカイブタブに表示されます。アーカイブから元に戻す場合は同様の手順でアーカイブから戻すボタンを押すとアクティブなテストフェーズ一覧に表示されます。

テストフェーズ一覧 + テストフェーズ追加

▶ アクティブ 4 ▣ アーカイブ 0

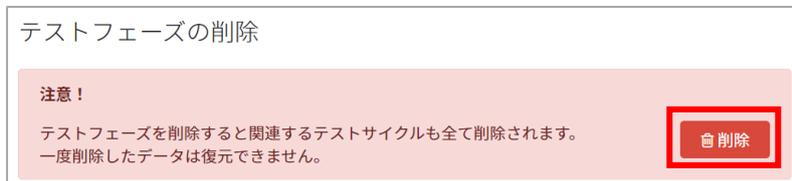
名前で検索

テストフェーズ名 ▲	フェーズ開始日	進行状況	テストスイート
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 設定	2020/05/24	<div style="width: 87%;"><div style="width: 87%;"></div></div> 305/348 (87%)	2件 <input type="button" value="≡ スイート一覧"/>

6.3.3. テストフェーズを削除する

テストフェーズの削除はテストフェーズ設定画面から行います。テストフェーズの削除はプロジェクト管理者以上の権限が必要です。

- (1) テストフェーズ設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



第7章 テストサイクルの管理

本章では、テストフェーズに紐付けたテストスイートに対して実際にテスト結果を記入していく=テストを実行していくための、実行単位のテストサイクルについて説明します。1つ以上のテスト実行単位(テストサイクル)を包含する「テストフェーズ」を定義し、テストフェーズに紐付けたテストスイートごとに、テストサイクルを作成することで、テスト実行が可能になります。

7.1. テストサイクルを作成する

本項ではテストを実行するためのテストサイクルを作成する方法について説明します。設定は後から変更可能です。

※テストフェーズ新規作成時に自動生成チェックをオンにした場合、1件目のテストサイクルは自動で生成されます。

- (1) テストフェーズ一覧画面から、テストサイクルを追加したいテストフェーズのスイート一覧ボタンを押します。

テストフェーズ一覧

▶ アクティブ 0 ■ アーカイブ 0

名前を検索 検索

テストフェーズ名 ▲	フェーズ開始日	進行状況	テストスイート
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 🔗 設定	2020/05/24	<div style="width: 87%;"><div style="width: 87%;"></div></div> 305/348 (87%)	2件 ≡ スイート一覧
αリリース向けテストフェーズ沖縄 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 🔗 設定	2020/05/24	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div> 348/348 (100%)	2件 ≡ スイート一覧
βリリース向けフル試験 📅 2020/05/24 ~ 2020/06/05 🔗 設定	2020/05/24	⚠ まだデータがありません	4件 ≡ スイート一覧
βリリース向け試験 📅 2020/06/01 ~ 2020/06/30 🔗 設定	2020/06/01	<div style="width: 7%;"><div style="width: 7%;"></div></div> 76/970 (7%)	4件 ≡ スイート一覧

- (2) 対象のテストスイートの一覧からサイクル一覧ボタンを押します。

対象のテストスイート

対象のテストスイート	サイクル総数	未実施	テスト中	レビュー待ち	完了	
テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 📅 2019/10/06 ~ 2019/11/07	3件	1件	1件	0件	1件	📄 サイクル一覧
テストスイートサンプル_通信機能テスト - 1.0 📅 まだテストサイクルがありません	0件	0件	0件	0件	0件	📄 サイクル一覧

(3) テストサイクル一覧画面右上のテストサイクル追加ボタンを押します。

テストサイクル一覧

+ テストサイクル追加

名前を検索

テストサイクル名 ▲ 対象の優先度 進行状況

(4) テストサイクルの基本情報を設定します。

テストサイクルの新規追加

必須 テストサイクル名

必須 サイクル開始日

必須 サイクル終了日

📌 サイクルの期間は「99日間」です

(5) テストケースに設定されている優先度のうち、どの優先度を対象とするかを選択します。
 ※テストスイート内で使用されている優先度のみ表示されます。

必須 対象の優先度

A B C D E F G H I J

(6) テスト担当者を指定します。

テスト担当者

QualityForward
 QFuser41
 QFuser21
 QFuser40

(7) 全ての入力を終わったら登録するボタンを押します。

7.2. テスト実施時に自動入力される値を設定する

本項目を設定すると、テストの結果を入力した際に設定値が自動的に備考欄に記載されます。

(1) テストサイクル一覧画面からデフォルト値設定をクリックします。



(2) テストサイクルでテスト結果を入力した際の自動入力される値を設定します。



The screenshot shows a form titled 'テスト結果のデフォルト値設定'. It contains three input fields: '環境' (Environment) with 'Charome', 'バグID' (Bug ID) which is empty, and '備考' (Remarks) with 'デフォルト値サンプル'. A '更新する' (Update) button is at the bottom right.

テスト結果のデフォルト値設定

ここに入力した内容は、テスト結果が入力された際に自動で入力されます。
テスト結果が入力された際に該当のカラムがすでに記入済みの場合は何も行いません。

環境
Charome

バグID

備考
デフォルト値サンプル

更新する

(3) 値の入力が完了したら更新するボタンを押します。

※デフォルト値の設定がしてある場合も手入力は可能です。

※手入力とデフォルト値が重なった場合、手入力の情報が優先されます。

7.3. 予実設定を管理する

テストの実施予測の設定をテストサイクル毎に行えます。設定したデータはレポート画面で収束曲線として表示されます。

7.3.1. 予実設定を入力する

ここで入力した進捗予想数は期限バーの件数へ反映されます。

- (1) テストサイクル一覧画面から、予実設定リンクを押します。



- (2) 欠陥予想 OPEN 数と欠陥予想 CLOSE 数、進捗予想数を入力します。

2回目テスト(全348テストケース)の予実設定

	欠陥予想OPEN	欠陥予想CLOSE	進捗予測
2019/10/02(水)	0	0	321
2019/10/03(木)	0	0	294
2019/10/04(金)	0	0	268
2019/10/05(土)	0	0	268
2019/10/06(日)	0	0	268

※入力内容はセルからカーソルが外れた時点で自動的に保存されます。

- (3) 進捗予想の入力により、期限バーの予定件数が変動します。

テストサイクル一覧 +テストサイクル追加

名前で検索

テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況	
未実施 テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0.2回目テスト TA 2020/06/29 ~ 2020/07/10 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	QualityForward	0/348 (0%)	<input type="button" value="▶開く"/> <input type="button" value="コメント"/>
テスト中 初回テスト TA, B, C, D, E, F, G, H, I, J 2020/06/28 ~ 2020/07/10 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	指定なし	305/348 (87%)	<input type="button" value="▶開く"/> <input type="button" value="コメント"/>
未実施 初回テスト 初回テスト 再テスト TA 2020/06/30 ~ 2020/07/10 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	QualityForward	0/305 (0%)	<input type="button" value="▶開く"/> <input type="button" value="コメント"/>

7.3.2. 予実設定を初期化する

入力した予実設定は初期化することができます。

レポートや実績推移表の予測値・テストサイクルの成分バーの期日は、予実設定の数値を基に値が設定されています。予実設定を初期化すると、これらの値が変わりますのでご注意ください。

- (1) 予実入力欄の右上にある初期化ボタンを押します。

サンプルサイクル(全234テストケース)の予実設定

	欠陥予想OPEN	欠陥予想CLOSE	進捗予想
2016/11/29(火)	0	0	218
2016/11/30(水)	1	1	218
2016/12/01(木)	2	2	218
2016/12/02(金)	2	2	202
2016/12/03(土)	4	4	187
2016/12/04(日)	5	5	171
2016/12/05(月)	6	6	156

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

予実設定を初期化しても宜しいですか？

7.4. テストサイクル設定を変更・削除する

テストサイクルの情報を変更・削除する方法を説明します。テストサイクルの情報は設定画面か

らいつでも変更可能です。

※テストサイクル設定の変更にはプロジェクト管理者以上の権限が必要です

7.4.1. テストサイクル設定を変更する

(1) テストサイクル一覧画面から変更したいテストサイクル名下の設定をクリックします。



(2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。



The screenshot shows the 'テストサイクルの設定' (Test Cycle Settings) form. It contains the following fields and options:

- 必須** テストサイクル名: テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0 1回目
- 必須** サイクル開始日: 2019/11/01
- 必須** サイクル終了日: 2019/11/15
🕒 サイクルの期間は「14日間」です
- 必須** 対象の優先度: A
- テスト担当者: QualityForward (dropdown menu)
- 管理者向けの設定**
- 必須** 状態: 未実施 (dropdown menu)

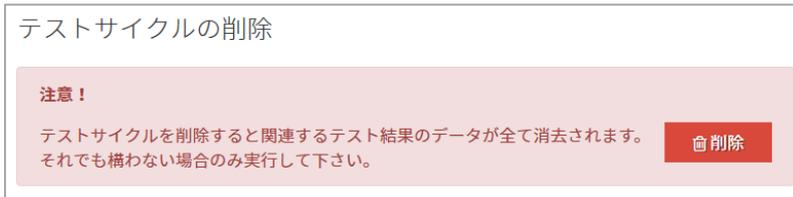
A blue '更新する' (Update) button is located at the bottom right of the form.

※テストサイクルの状態はプロジェクト管理者またはテナント管理者のみ設定可能です。

7.4.2. テストサイクルを削除する

テストサイクルの削除はテストサイクル設定画面から行います。

- (1) テストサイクル設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

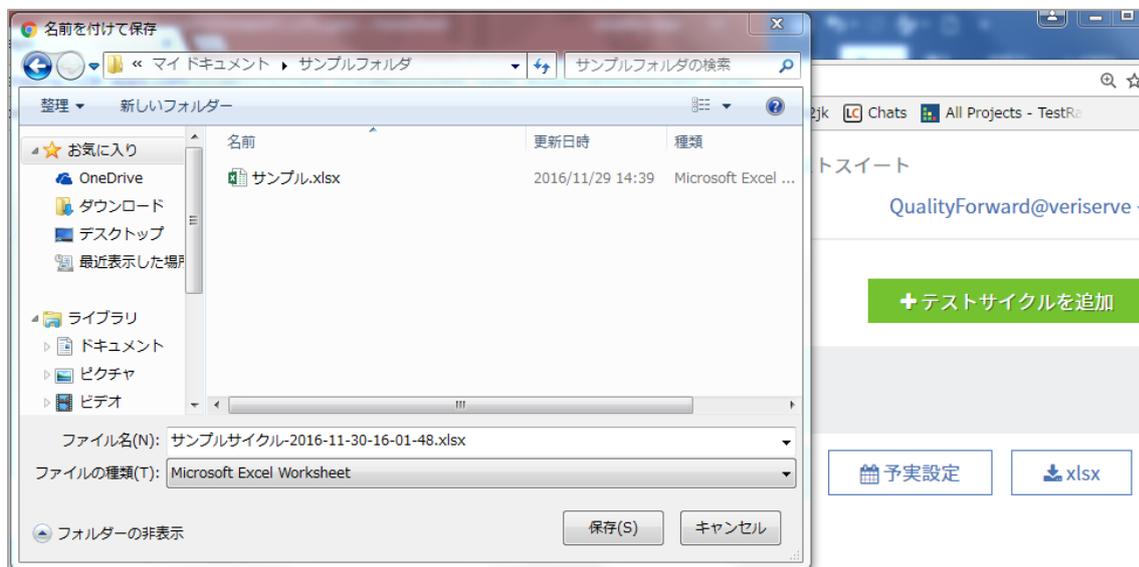
7.5. テストサイクルをエクスポートする

テスト結果はテストサイクル毎にエクセル形式でのダウンロードが可能です。

- (1) テストサイクル一覧画面からダウンロードしたいテストサイクルの xlsx ボタンを押します。



- (2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。



7.6. テストサイクルの再テストを行う

実施済みのテストサイクルを元にテスト対象を絞り込んで再テストすることができます。FAILになった項目や、前回実施できなかった項目などを対象としたテストサイクルを作成します。

- (1) テストサイクル一覧から再テストしたいテストサイクル名の下にある再テストをクリックします。



- (2) 再テストの対象としたい条件を選択します。

テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テストの再テスト

■ ベースとするテストサイクル

テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト

対象のテスト結果

PASS FAIL SKIP CUT BLOCK N/A Q&A

必須 テストサイクル名

テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目

必須 サイクル開始日

2020/06/08

必須 サイクル終了日

2020/06/22

🕒 サイクルの期間は「14日間」です

必須 対象の優先度

A B C D

テスト担当者

登録する

(3) 全ての入力を終わったら登録するボタンを押します。

登録する

(4) 対象を絞り込んだテストサイクルが作成されます。通常のテストサイクルと同様に実施することができます。

テストサイクル一覧		+ テストサイクル追加	
名前を検索		検索	
テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況	
未実施 テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 2回目テスト ▼ A 2020/06/29 ~ 2020/07/10 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	QualityForward	0/348 (0%)	
テスト中 初回テスト ▼ A, B, C, D, E, F, G, H, I, J 2020/06/28 ~ 2020/07/10 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	指定なし	305/348 (87%)	
未実施 初回テスト 初回テスト 再テスト ▼ A 2020/06/30 ~ 2020/07/10 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	QualityForward	0/305 (0%)	

7.7. テストサイクルの進捗情報をコピーする

テストサイクルの進捗に関連する情報をまとめてコピーすることができます。

- (1) テストサイクル一覧から、情報をコピーしたいテストサイクルの右端にあるアイコンをクリックします。

テストサイクル一覧		+ テストサイクル追加	
名前を検索		検索	
テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況	
レビュー待ち テストケースA - 1.0 1回目テスト ▼ A 2020/06/26 ~ 2020/06/30 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	QualityForward	19/101 (18%)	
完了 テストケースA - 1.0 2回目テスト ▼ A 2020/06/25 ~ 2020/06/30 設定 デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト	指定なし	101/101 (100%)	

- (2) 以下のようにテストサイクルの情報がコピーされます。

```

テストサイクル名: テストケースA - 1.0 1回目テスト
サイクル開始日: 2020/06/26
サイクル終了日: 2020/06/30
対象の優先度: A
テスト担当者: QualityForward
PASS: 17件
FAIL: 2件
SKIP: 0件
CUT: 0件
BLOCK: 0件
N/A: 0件
Q&A: 0件
未実施: 82件
  
```


※デフォルト値の設定がある場合はデフォルト値が自動入力されます。

環境	バグID	備考
Windows7 Chrome	#000	サンプルデータ

(5) テストの実施状況はリアルタイムで更新されます。

トップ / 20190322最新アップデート / テストフェーズ一覧 / サンプルフェーズのサンプルシート / サンプルシート-1.0.1回目テスト

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
32	16			セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに<iframe>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
33	16			セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに<table>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
34	16			セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに<list>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
35	16			文字コードでバイト数が変わる文字が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに[ほっけの漢字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
36	16			[色つき文字]が含まれる場合	・インポートするエクセルファイルに[色つき文字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
37	16			[太字]が含まれる場合	・インポートするエクセルファイルに[太字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする

レビュー依頼

101/101

(6) テストケースにフィルタをかけ、まとめて編集も可能です。

事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者
機能Aが実行できる状態にする	値でフィルタ: 検索	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする		あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする	<input checked="" type="checkbox"/> 機能Aが実行できる状態にする	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする	<input checked="" type="checkbox"/> 機能Bが実行できる状態にする	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする	<input checked="" type="checkbox"/> 機能Cが実行できる状態にする	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする	<input type="checkbox"/> 機能Aが実行できる状態にする	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする		あること	QualityForward

OK キャンセル

の順で遷移する ② 機能Cが実行可能であること

(7) テキストでフィルタをかける場合は、一度クリアをクリックしてからテキスト入力を行い、表示されたフィルタにチェックを入れます。

事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者
機能Aが実行できる状態にする	値でフィルタ: B	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする		あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする	<input type="checkbox"/> 機能Bが実行できる状態にする	あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする		あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする		あること	QualityForward
機能Aが実行できる状態にする		あること	QualityForward

OK キャンセル

の順で遷移する ② 機能Cが実行可能であること

- (8) テストケース編集画面同様、テスト実行画面でもテキスト検索を行うことができます。
Ctrl+F を押し、検索したいキーワードを入力したら Enter を押してください。

テスト条件	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	
1 正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] であること テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと 	<ol style="list-style-type: none"> [ファイルを選択ボタン] をクリックする インポートするファイルをクリックする [登録するボタン] をクリックする 	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること インポートしたテストケースが全て表示されること 				
2 サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] 以外であること テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと 	<ol style="list-style-type: none"> [ファイルを選択ボタン] をクリックする インポートするファイルをクリックする [登録するボタン] をクリックする 	<ul style="list-style-type: none"> エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること 	QualityForward	2017/12/01	PASS	
3 設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> 項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと 項目数が2つ以上のテストケースであること 	<ol style="list-style-type: none"> [ファイルを選択ボタン] をクリックする インポートするファイルをクリックする [登録するボタン] をクリックする 	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること 2つ目以降の項目は無視して登録されていること 	QualityForward	2017/12/01	PASS	FAIL
4 設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> 項目数が2つのテストスイートを作成しておくこと 項目数が1つのテストケースであること 	<ol style="list-style-type: none"> [ファイルを選択ボタン] をクリックする インポートするファイルをクリックする 	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること 	QualityForward	2017/12/01	SKIP	

8.2. テストを実行しながら BTS に起票する

テストフェーズ設定画面で BTS 連携の設定が済んでいる場合、該当テストケースを右クリックすることで直接チケットの起票画面を開くことができます。

- (1) FAIL など不具合があった場合、該当のテストケースで右クリックします。

期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境
<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること インポートしたテストケースが全て表示されること 	QualityForward	2020/04/07	FAIL	
<ul style="list-style-type: none"> エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること 				

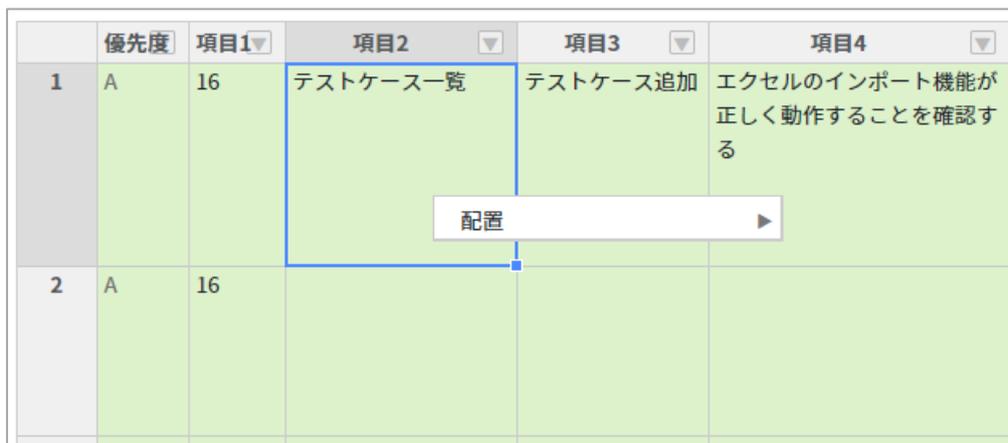
配置
 BTSに起票

- (2) チケットの起票が完了するとグラフやレポートに反映されます。

8.3. 文字列の配置を変更する

テスト実行画面のテストケースの文字配置を変更することができます。

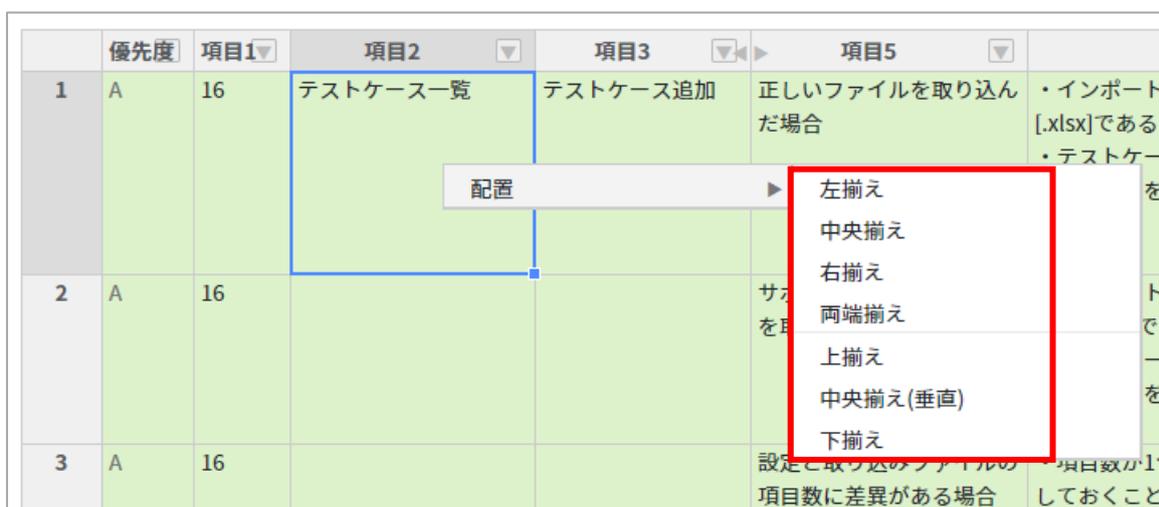
(1) 文字の配置を変更したいセルまたは列を選択し、右クリックします。



A screenshot of a table with 5 columns: 優先度, 項目1, 項目2, 項目3, 項目4. Row 1 contains: A, 16, テストケース一覧, テストケース追加, エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する. A context menu is open over the cell containing 'テストケース追加', showing the option '配置'.

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する
2	A	16			

(2) 変更したい配置を選択すると選択されているセルの文字の配置を変えることができます。



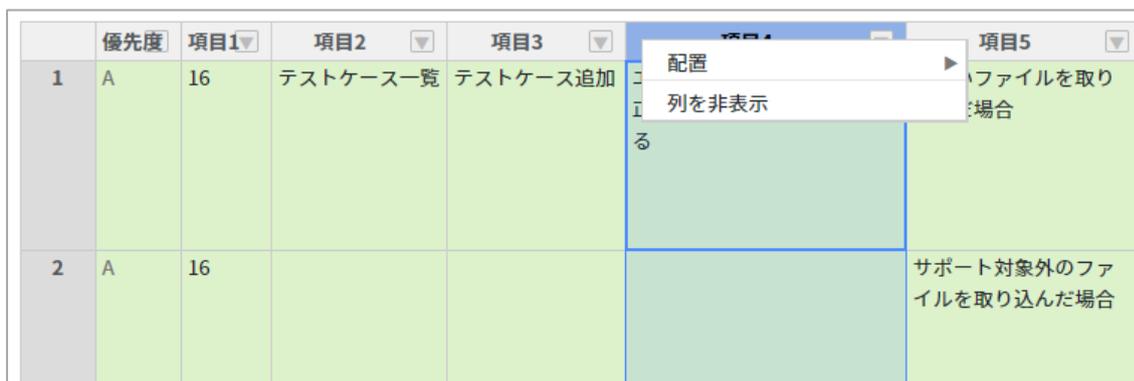
A screenshot of a table with 5 columns: 優先度, 項目1, 項目2, 項目3, 項目5. Row 1 contains: A, 16, テストケース一覧, テストケース追加, 正しいファイルを取り込んだ場合. A context menu is open over the cell containing '正しいファイルを取り込んだ場合', showing alignment options: 左揃え, 中央揃え, 右揃え, 両端揃え, 上揃え, 中央揃え(垂直), 下揃え.

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目5
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
3	A	16			設定で取り込めるファイルの項目数が1つ項目数に差異がある場合

8.4. 列の表示・非表示を切り替える

テスト実行中に表示する必要がない列は非表示にすることができます。

(1) テスト実行画面で非表示にしたい列の項目名を右クリックします。



A screenshot of a table with 5 columns: 優先度, 項目1, 項目2, 項目3, 項目5. Row 1 contains: A, 16, テストケース一覧, テストケース追加, エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する. A context menu is open over the column header '項目4', showing the option '列を非表示'.

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合
2	A	16				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(2) 列を非表示をクリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
2	A	16				

(3) 列を再表示する場合は、非表示になっている列の両隣の列を選択してから右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(4) 列を表示をクリックします。

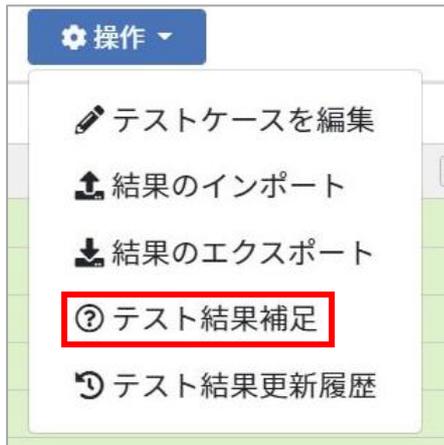
	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

8.5. テスト結果補足の設定内容を確認する

プロジェクト設定でテスト結果補足を利用するにチェックを入れた場合、実行画面からも確認す

ることができます。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果補足をクリックします。



- (2) テスト結果補足に設定した内容を確認できます。



- (3) テスト結果が入力されている場合にテスト結果補足の入力を行うことができます。

期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること	QualityForward	2018/03/29	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること	QualityForward	2018/05/14	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること	QualityForward	2018/03/29	FAIL		

FAIL → PASS
SKIP → PASS
QA → PASS

8.6. テストケースを編集する

テスト実行画面から、テストケースの編集画面へ遷移することができます。

- (1) テストケースの編集を行う場合、テスト実行画面上部の操作プルダウンからテストケースを編集をクリックして編集画面へ進みます。

優先度	機能カテゴリ	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果
1	A	主機能遷移	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser71	2020/08/17	PASS
2	A	主機能遷移	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser71	2020/08/17	PASS
3	A	主機能遷移	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser71	2020/08/17	PASS

- (2) テストケース編集はテストケース作成時と同様に自由に編集可能です。エクセルインポートで一括上書きも可能です。

※エクセルシートをインポート時に同じ識別 ID が存在する場合、既にあるデータにインポートデータが上書きされます。

トップ / サンプルプロジェクト / テストスイート一覧 / テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0 操作 QualityForward

注意!

このテストスイートには、既にテストサイクルが存在しているため読取専用になっています。
 テストケースの編集や削除を行った場合、完了しているテストサイクルを含め関係するテストケースが書き換わります。(同じ識別IDの行が上書き、もしくは削除されます)。
 誤字脱字やテスト手順の軽微な変更等を除き、テストスイートのアップデートには別名の新たなファイルをインポートしてください。

また、この内容を変更しても関連するテストサイクルで設定済みの対象テストケースの設定は更新されません。
 識別IDのズレやフィルタによる調整が必要な場合は手動で更新を行う必要があります。

テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0のテストケース編集

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順
1	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする
2	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする
3	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする
4	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする
5	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする

8.7. テスト結果をエクスポートする

テストサイクル画面に入力されたテスト結果は csv 形式にてエクスポートすることができます。

- (1) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のエクスポートを選択します。

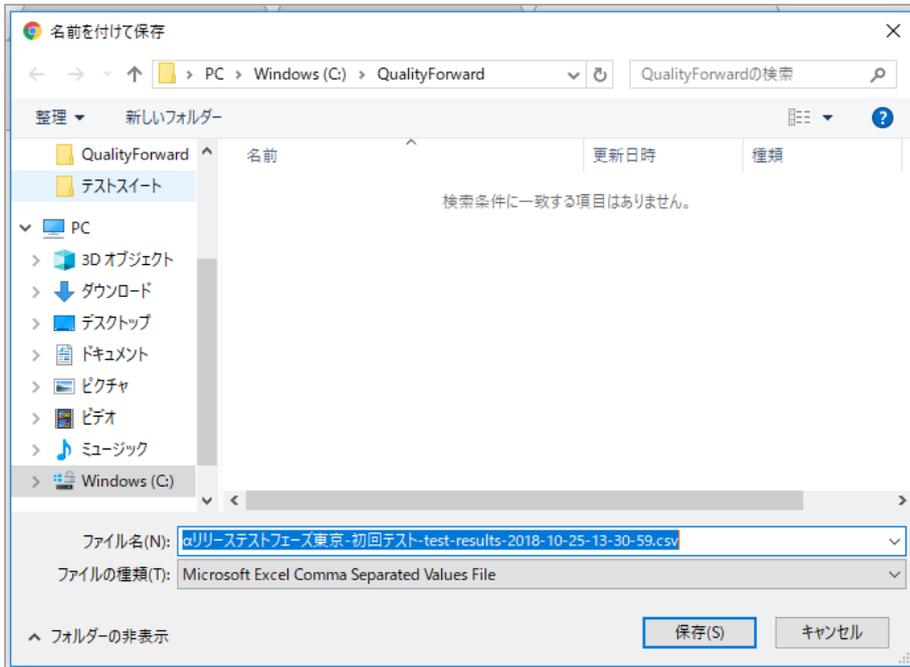
スト / 初回テスト 操作 QualityForward@QFサポートチーム

テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト
機能A → 機能B → 機能C 機能Eの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能C 機能Dの順で遷移する	可能であること 画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能C 機能Eの順で遷移する	可能であること 画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能C の順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能D の順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	

操作メニュー:

- テストケースを編集
- 結果のインポート
- 結果のエクスポート**
- 備考を表示
- 関連ファイル
- テスト結果補足
- テスト結果更新履歴

- (2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、保存ボタンを押します。



(3) 以下のような形式でテスト結果がエクスポートされます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				

8.8. テスト結果をインポートする

テスト結果インポートでは、まだ結果の入っていないテストサイクルに結果を書き込むことや、既に入力してあるテスト結果に対し上書きを行うことができます。

(1) 以下のように csv ファイルを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS	Chrome	#00000	テスト結果インポート
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS			
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				

インポートできるファイルは csv 形式になります。以下の内容をご確認のうえインポートを実施してください。アップロードエラーとなった場合、インポートは実施されません。

※対象の識別 ID に対し書き込みを行うため、識別 ID は正しく指定してください

※プロジェクトに存在しないユーザ、またはテスト実施者が無記入の場合はインポートすることができません

※日付の形式は「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」です

※テスト結果、テスト結果補足は QualityForward 上の設定と、csv で指定した文字列が完全に一致している必要があります

※文字コードは「UTF-8」のみ対応しております

※インポートするテスト結果の数がテストサイクルの行数より多い場合、インポートすることができません

(2) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のインポートを選択します。



(3) テスト結果インポート画面が開いたら、手順(1)で作成した csv ファイルを指定し、登録するボタンを押します。



(4) テスト結果がインポートされました。

	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	する 機能A → 機能B → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS	FAIL → PASS	Chrome	#00000	テスト結果インポート
2	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
3	する 機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
4	する 機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
5	する 機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	FAIL		Chrome	#00000	
6	する 機能A → 機能B → 機能E → 機能D → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
7	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
8	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	FAIL		Chrome	#00000	
9	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能B → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS	FAIL → PASS			
10	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能E → 機能Bの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Bが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
11	する 機能A → 機能C → 機能E → 機能B → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				

8.9. 掲示板でテスト状況の報告を行う

各テストサイクルには掲示板が設置されており、プロジェクト内のユーザ同士でコメントのやり

取りを行うことができます。コメントボタンには投稿されたコメントの件数が表示されます。

- (1) テストサイクル一覧からコメントボタンを押します。



- (2) 任意のメッセージを入力し、投稿ボタンを押すとコメントが投稿されます。コメントにはメンション機能があり、投稿時に通知メールを指定の宛先に送信することができます。コメント入力欄に"@ "を入力するとプルダウンメニューが表示され、プロジェクト内のユーザを選択することができます。"@all"を選択するとプロジェクト内のすべてのユーザに向けて通知メールを送信することができます。



- (3) プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザはコメントの削除も行うことができます。投稿したコメントの名前の横にあるゴミ箱マークをクリックします。



- (4) コメント削除の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



8.10. レビューのワークフロー

テストはテスト管理者のレビューを終えたのち、完了となります。テスト実施者とテスト管理者はレビューの依頼や差し戻し、完了の通知をテスト実行画面上より行います。

各ワークフローで送信されたメッセージはコメントとして記録され、テストサイクル横の「コメント」から確認することができます。

8.10.1. レビューを依頼する

テストが終わったらテスト実施者はレビュー依頼をすることができます。レビュー依頼をするとレビュー者に指定されたメールアドレスにレビュー依頼通知が送信され、レビュー待ちのテストサイクル一覧に対象のテストサイクルが表示されます。

- (1) 対象のテストサイクルの親となるテストフェーズの設定画面を開き、レビュー者のメールアドレスを確認します。レビュー者はいつでも追加、削除することができます。

A screenshot of the "テストフェーズの設定" (Test Phase Settings) page. The "基本設定" (Basic Settings) section is active. It shows the following fields:

- テストフェーズ名 (Test Phase Name): サンプルフェーズ (Sample Phase)
- フェーズ開始日 (Phase Start Date): 2019/04/04
- フェーズ終了日 (Phase End Date): 2019/05/04
- レビュー者のメールアドレス (Reviewer's Email Address): qualityf.user@gmail.com

A note below the email field states: "メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます" (Multiple email addresses can be specified, separated by commas).

- (2) レビュー依頼を出したいテスト実行画面最下部のレビュー依頼ボタンを押します。



(3) 任意のメッセージを入力し、送信ボタンを押します。



(4) レビュー依頼やレビュー完了などの通知は、メールで通知された URL、またはテストサイクル一覧画面のコメントボタンから開ける掲示板にも記載されます。

※投稿したコメントと異なり、この内容を掲示板から削除することはできません。



テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況
テスト中 テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト ▼ A, B, C, D 📅 2020/06/08 ~ 2020/06/22 🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 予実設定 📄 xlsx 🔄 再テスト	QualityForward	<div style="width: 15%; background-color: green; height: 10px;"></div> 15/97 (15%) ▶ 開く 🗨️ コメント
未実施 🕒 テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト 再テスト ▼ A, B, C, D 📅 2020/06/08 ~ 2020/06/22 🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 予実設定 📄 xlsx 🔄 再テスト	指定なし	<div style="width: 0%; background-color: red; height: 10px;"></div> 0/15 (0%) ▶ 開く 🗨️ コメント

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 2019/04/04 17:26

QualityForward
 テスト結果に問題がないことを確認しました。
 テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:25

テスト花子
 再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 2019/04/04 17:25

QualityForward
 スキップの項目を確認してください

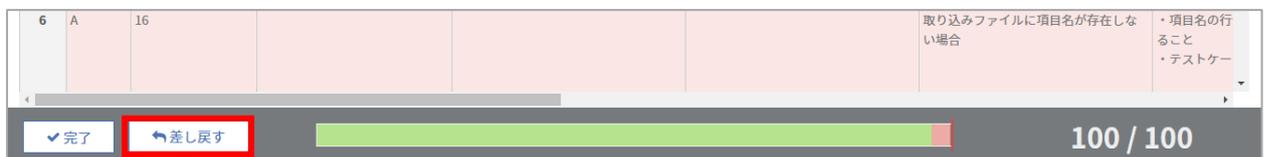
レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:24

テスト花子
 テストが完了したため確認をお願いします。

8.10.2. レビュー依頼を差し戻す

ダッシュボードでレビュー待ちのテストサイクルの一覧を確認できます。レビュー待ちのテストケースに不備があった場合、テスト実施者へレビュー依頼の差し戻しを行います。

- (1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。
- (2) テスト実行画面最下部の差し戻すボタンを押します。



- (3) 差し戻し理由を入力し、送信ボタンを押します。

差し戻し理由を記入してください

例：スキップの数が多すぎるので再チェックして下さい

送信

(4) テスト実施者へ差し戻しメールが送信され、掲示板にも差し戻しが通知されます。

【要確認】 サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビュー依頼が差し戻されました

受信トレイ x

no-reply@cloud.veriserve.co.jp
To qualityf.user+2

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」が以下の理由で差し戻されました。

- 理由
スキップの項目を確認してください
- 再度テストを行う場合はこちら
https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662
- コメントをやり取りしたい場合はこちら
https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662/test_cycle_comments

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 2019/04/04 17:26

QualityForward
テスト結果に問題がないことを確認しました。
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:25

テスト花子
再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 2019/04/04 17:25

QualityForward
スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:24

テスト花子
テストが完了したため確認をお願いします。

8.10.3. レビューを完了する

テスト実行結果に不備がなければ、テストサイクルを完了とすることができます。レビューを完了したテストサイクルは閲覧専用となり、編集を行うことができません。一度完了させたレビューの状態を変更するには手順 [8.11](#) を参照ください。

- (1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。
- (2) テスト実行画面最下部の完了ボタンを押します。



- (3) 任意のメッセージを入力したら送信ボタンを押します。

レビュー完了

例：テスト結果に問題がないことを確認しました

送信

- (4) レビュー完了通知がテスト実施者へ送信され、掲示板にもレビュー完了が通知されます。



サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 2019/04/04 17:26



QualityForward

テスト結果に問題がないことを確認しました。
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:25



テスト花子

再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 2019/04/04 17:25



QualityForward

スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:24



テスト花子

テストが完了したため確認をお願いします。

8.11. テストサイクルの状態を変更する

プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザは、テストサイクルの状態を変更することができます。テストサイクルの状態は未実施・テスト中・レビュー待ち・完了の4種類から選択することができます。

- (1) テストサイクル一覧画面から「設定」をクリックし、テストサイクルの設定画面を開きます。



- (2) 管理者向けの設定内の「状態」のプルダウンメニューより任意の状態を選択し、「更新する」ボタンを押します。

テストサイクルの設定

テストフェーズの期間：2020/10/30～2020/11/30

必須 テストサイクル名
サンプルスイートB-1.0 1回目テスト

必須 サイクル開始日
2020/10/30

必須 サイクル終了日
2020/11/13
① サイクルの期間は「14日間」です

必須 対象の優先度
 A

テスト担当者
▼

管理者向けの設定

必須 状態
テスト中 ▼

更新する

(3) テストサイクル一覧画面に遷移し、テスト状態が変更されていることを確認できます。

テストサイクル名 ▲	
▼ A	サンプルスイートB-1.0 1回目テスト
テスト中	2020/10/30～2020/11/13
設定	デフォルト値設定 予実設定 xlsx 再テスト

8.12. 関連ファイルを確認する

テストスイート作成時にアップロードした関連ファイルをテスト実行画面からダウンロードできます。

(1) テスト実行画面上部の操作プルダウンから関連ファイルをクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / testの対象テストスイート一覧 / テストスイートサンプル_リリース前試験-2.0のテストサイクル一覧 / テストスイートサンプル_リリース前試験-2.0 1回目テスト

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト
146	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする の順で遷移する 機能B→機能A→機能C→機能E→機能D	① 機能Eが実行可能であること ② それぞれの画面へ遷移可能であること ③ 機能Dが実行可能であること	Quality
147	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする の順で遷移する 機能B→機能A→機能D→機能C→機能E	① 機能Eが実行可能であること ② 機能Dが実行可能であること ③ 機能Eが実行可能であること	Quality
148	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする の順で遷移する 機能B→機能A→機能D→機能E→機能C	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	Quality

操作 ▼

- テストケースを編集
- 結果のインポート
- 結果のエクスポート
- 名前を表示
- 関連ファイル**
- テスト結果更新履歴

- (2) 関連ファイル一覧画面が表示されたら、ダウンロードしたいファイルをクリックします。



8.13. テストの実行時間を確認する

テストスイートに対し、テストが実行された時間の確認ができます。テストスイート一覧画面のテストスイート名の下に直近の実行時間が表示されます



※実行時間はテスト実行のチェック依頼が完了になると算出されます。

※該当のテストサイクルにおいてその日の最も遅いテスト実施日時(テスト結果を投入した実時間) から最も早いテスト実施日時を引いたものが直近の実行時間として 1 日毎に算出されます。全ての日数の実行時間の累計が「直近の実行時間」となります。

8.14. 更新履歴管理

テスト結果の更新履歴を見ることができます。どのテストケースに対し、誰が・いつ・どのように変更を加えたかを一覧で表示します。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果更新履歴のリンクをクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / oリリーステストフェーズ東京のテストスイートサンプル_画面遷移テスト / 初回テスト

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順
1856	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Cが実行できる状態にする
1857	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Cが実行できる状態にする

操作 QualityForward

- 編集する
- テスト結果更新履歴
- 備考を表示
- 関連ファイル
- テスト結果補足

(2) テスト結果更新履歴の一覧が表示されます。更新履歴は最初の入力の後に更新が行われた場合のみ出力されます。

トップ / サンプル作成プロジェクト / テストフェーズ一覧 / サンプルフェーズのテストスイート / 第4回 / テスト結果更新履歴 QualityForward@veriserve

テスト結果更新履歴

CSV

日付	テストケース	ユーザ	変更内容
2017/06/29 09:50:41	7	QualityForward	{"テスト結果"=>["BLOCK", "PASS"]}
2017/06/29 09:50:42	8	QualityForward	{"テスト結果"=>["BLOCK", "PASS"]}

第9章 レポート管理

レポート画面ではプロジェクト全体、フェーズ毎のテスト実施予定数や進捗状況、欠陥数やクローズ数などをまとめて確認できます。

9.1. プロジェクト全体のレポート

プロジェクト全体の進捗状況をひと目で確認することができます。

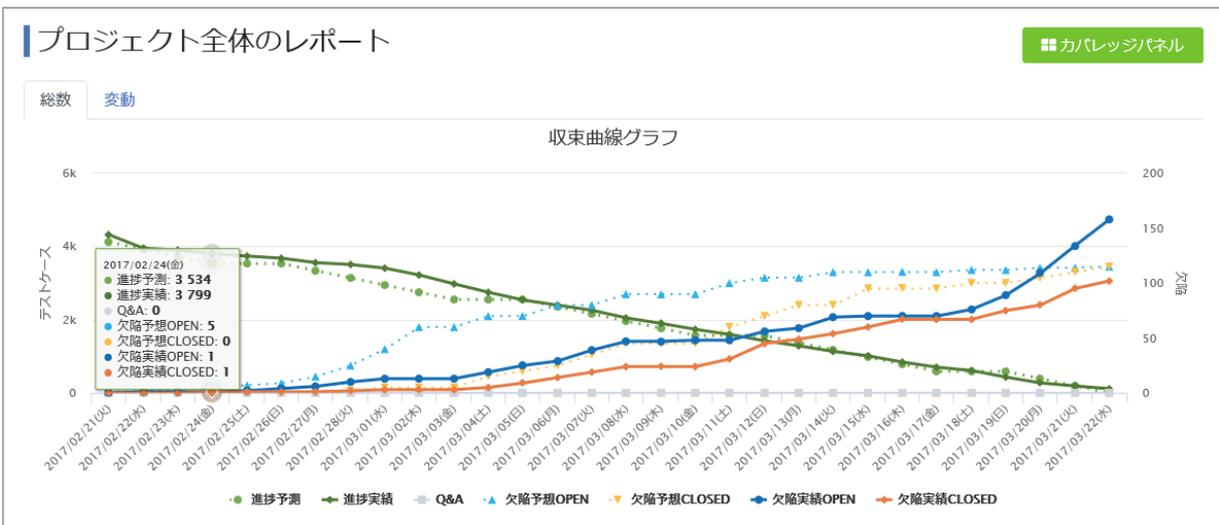
9.1.1. 収束曲線(総数)

予実設定やテストケース数が増えたタイミングに関係なく、プロジェクト全体のテストケース数から実績を見るグラフです。

(1) ダッシュボード画面左のメニューからレポートのリンクをクリックします。



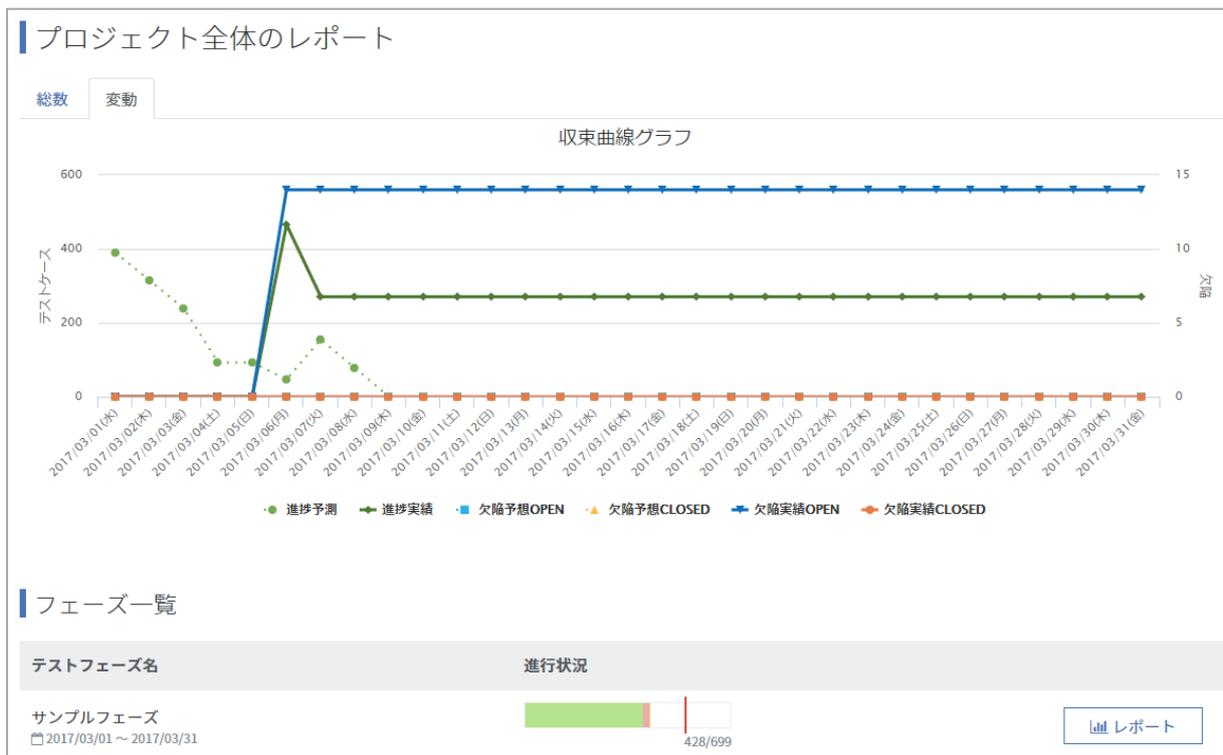
(2) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



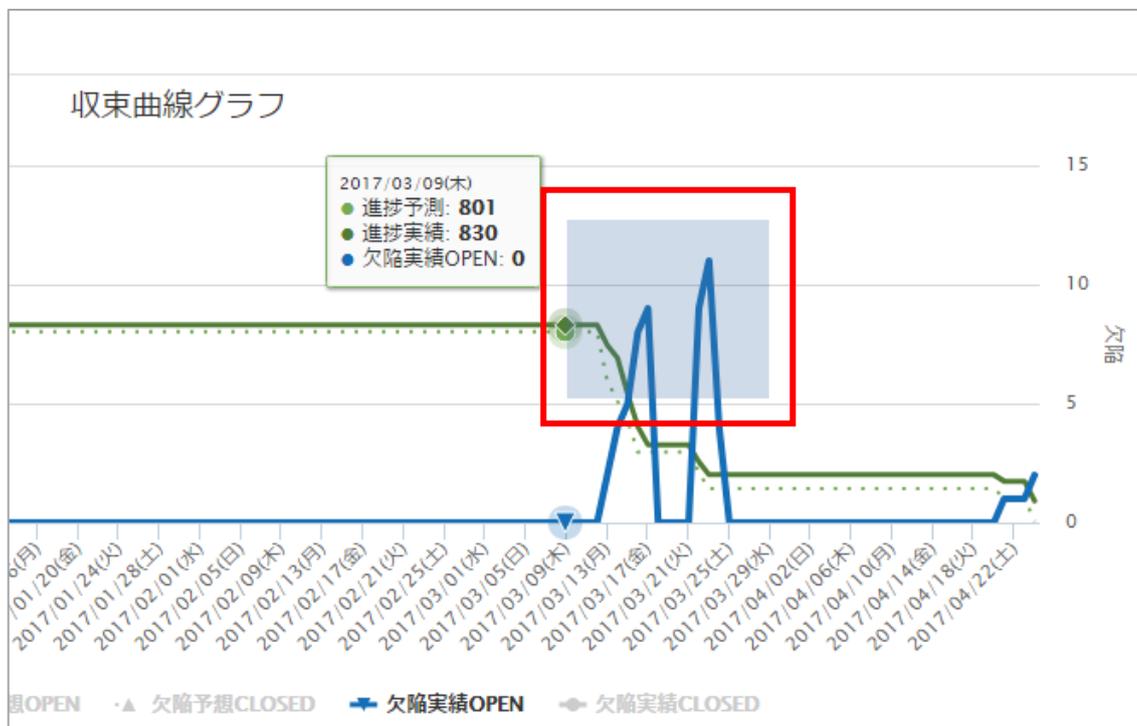
9.1.2. 収束曲線(変動)

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が変動します。

- (1) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



※収束曲線グラフが細かくて見づらい場合、ドラッグで範囲選択するとその部分をズームして見ることができます。



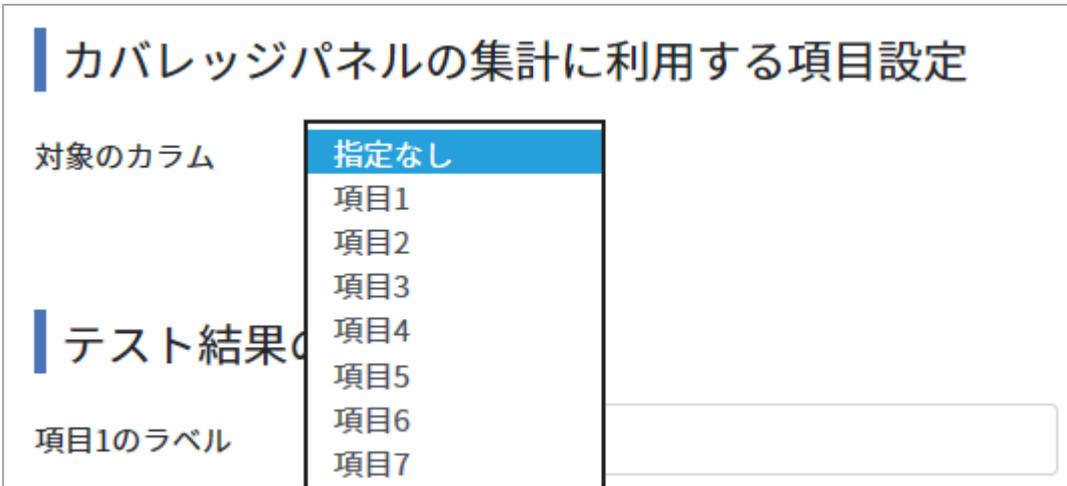
元に戻す場合はグラフ右上に表示される Reset zoom ボタンを押します。



9.1.3. プロジェクト全体のカバレッジパネル

プロジェクトのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在し、そのテストがどれくらい実行されているかをひとめで確認できます。

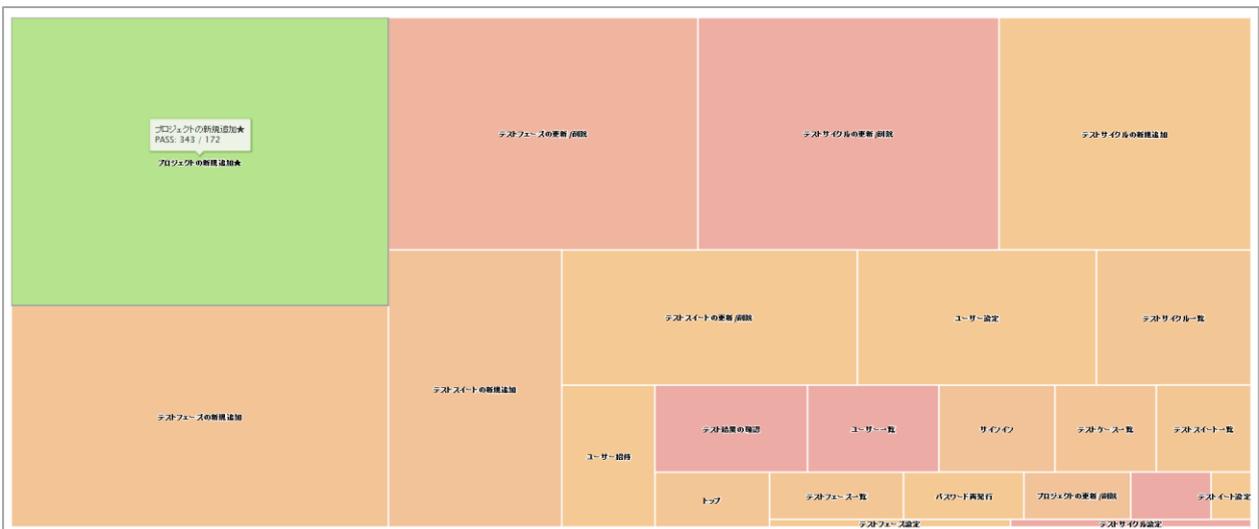
- (1) テストスイートの設定画面から、カバレッジパネルの集計に利用する項目設定で集計対象とするカラムを選択し保存します。



- (2) レポート画面を開き、プロジェクト全体の収束曲線グラフ右上にあるカバレッジパネルボタンを押します。



- (3) テストスイート設定画面で対象のカラムを指定してある全テストスイートから集計されます。テストがクリアした件数に応じて色が緑に変わっていきます。カーソルを合わせると全部で何件のテストケースが存在し、何件のテストがクリアしたかを確認できます。全てのテストがクリア (PASS 率 100%) となった場合、★マークが表示されます。カバレッジパネルの分母はテストケース数のユニーク数、分子はそのテストケースに対する総テスト実行回数です。テストサイクルが複数回実施される場合は PASS 率が 200%、300%と増えていき、100%毎に★マークが増えていきます。



9.1.4. フェーズ一覧

プロジェクトに登録されているテストフェーズの一覧が表示されます。

テストフェーズ名 ▲	進行状況			
10・15リリース 📅 2017/09/08 ~ 2017/10/15	 17/56 (30%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	 2045/2160 (95%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ沖縄 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	 2160/2160 (100%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
βリリース向けフル試験 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	⚠️ まだデータがありません	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
テスト用フェーズ 📅 2017/04/14 ~ 2017/04/21	 22/30 (73%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表

9.2. フェーズ毎レポート

フェーズ単位でのテスト予定と実績を確認できます。

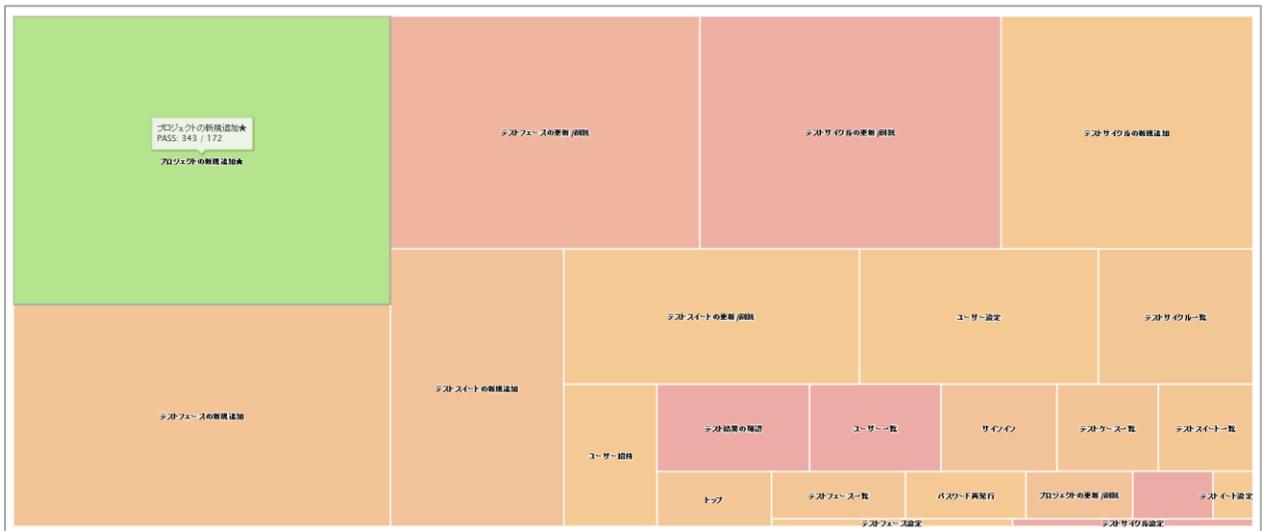
9.2.1. フェーズ毎のカバレッジパネル

フェーズのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在し、そのテストがどれくらい実行されているかをひとめで確認できます。

- (5) フェーズ毎のカバレッジパネルを確認する場合は、プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧右側にあるカバレッジパネルボタンを押します。

テストフェーズ名 ▲	進行状況			
10・15リリース 2017/09/08 ~ 2017/10/15		カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ東京 2017/02/21 ~ 2017/03/22		カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ沖縄 2017/02/21 ~ 2017/03/22		カバレッジパネル	チャート	実績推移表
βリリース向けフル試験 2017/02/21 ~ 2017/03/22	⚠ まだデータがありません	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
テスト用フェーズ 2017/04/14 ~ 2017/04/21		カバレッジパネル	チャート	実績推移表

- (6) テストスイート設定画面で対象のカラムを指定してあるテストスイートから集計されます。テストがクリアした件数に応じて色が緑に変わっていきます。カーソルを合わせると全部で何件のテストケースが存在し、何件のテストがクリアしたかを確認できます。全てのテストがクリアとなった場合、★マークが表示されます。



9.2.2. 収束曲線(総数)

予実設定やテストケース数が増えたタイミングに関係なく、フェーズ全体のテストケース数から実績を見るグラフです。

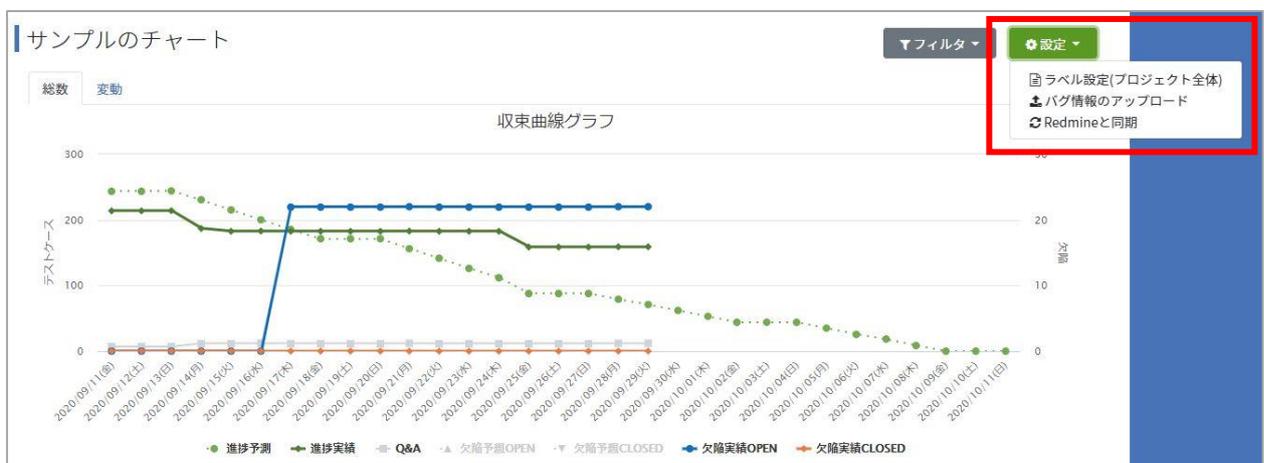
- (1) フェーズ毎のレポートを確認する場合は、プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧右側にあるチャートボタンを押します。

テストフェーズ名 ▲	進行状況	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
10・15リリース 2017/09/08 ~ 2017/10/15	17/56 (30%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ東京 2017/02/21 ~ 2017/03/22	2045/2160 (95%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ沖縄 2017/02/21 ~ 2017/03/22	2160/2160 (100%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
βリリース向けフル試験 2017/02/21 ~ 2017/03/22	まだデータがありません	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
テスト用フェーズ 2017/04/14 ~ 2017/04/21	22/30 (73%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表

(2) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



(3) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の設定メニューから Redmine と同期(JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期)リンクをクリックします。



※Redmine・JIRA との同期は 8:00,12:00,18:00 の 1 日 3 回自動で行われます。「今、この瞬間」のレポートを確認したい場合は Redmine と同期 (JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期) リンクを押してください。

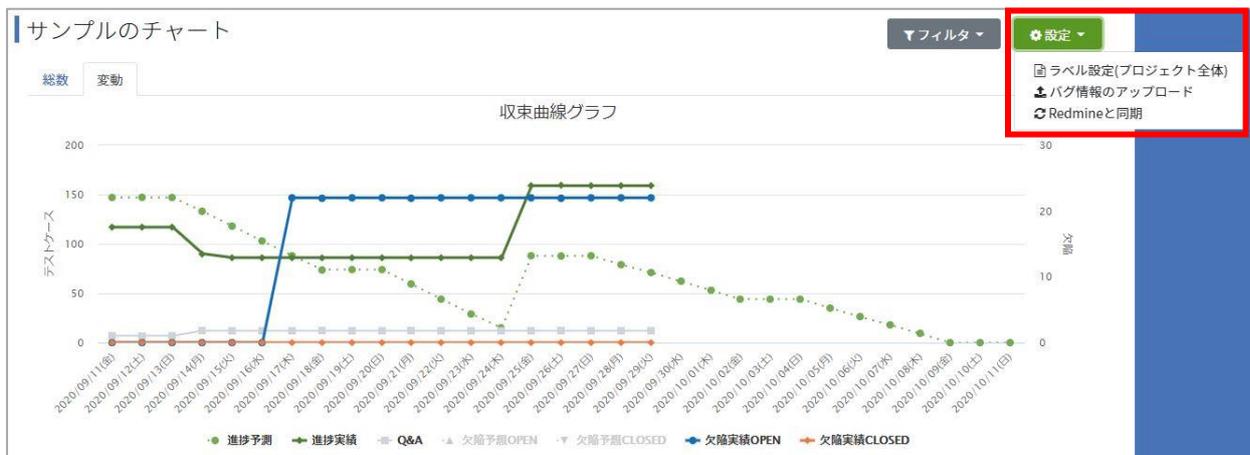
9.2.3. 収束曲線(変動)

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が増減します。

(1) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



(2) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の設定メニューから Redmine と同期(JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期)リンクをクリックします。



※Redmine・JIRA との同期は 8:00,12:00,18:00 の 1 日 3 回自動で行われます。「今、この瞬間

間」のレポートを確認したい場合は Redmine と同期 (JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期) リンクを押してください。

9.2.4. チャートにフィルタをかける

テストフェーズに紐づくテストサイクルはフィルタを使用することで、任意に選択して集計することができます。集計した結果は収束曲線グラフ、積み上げグラフとして表示されます。

(1) レポートのフェーズ一覧画面より任意のテストフェーズの「チャート」ボタンを押します。

テストフェーズ名 ▲	進行状況	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
test_次世代プロジェクト 📅 2020/09/03 ~ 2020/10/03	⚠️ まだデータがありません	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2020/08/16 ~ 2020/08/28	336/696 (48%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
αリリース向けテストフェーズ沖縄 📅 2020/08/16 ~ 2020/09/26	372/510 (72%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
βリリース向けフル試験 📅 2020/08/16 ~ 2020/08/28	⚠️ まだデータがありません	カバレッジパネル	チャート	実績推移表
サンプル 📅 2020/09/11 ~ 2020/10/11	100/259 (38%)	カバレッジパネル	チャート	実績推移表

(2) チャート画面右上のフィルタのプルダウンメニューから「フィルタ設定」を選択します。

トップ / サンプルプロジェクト / レポート一覧 / サンプルのチャート

QualityForward

サンプルのチャート

総数 変動

収束曲線グラフ

フィルタ ▼

フィルタなし

フィルタ設定

(3) フィルタ設定画面の右上の「+フィルタ追加」ボタンを押します。

サンプルのフィルタ設定

+フィルタ追加

フィルタ名	テストサイクル
i ありません	

- (4) フィルタの作成画面にてフィルタ名を入力後、紐づけたいテストサイクルを選択して「登録する」ボタンを押してください。フィルタの登録が完了すると設定画面へ戻ります。この設定は後から変更することができます。(手順 [9.2.5](#) 参照)



- (5) フィルタ設定後、チャート画面から「フィルタ」のプルダウンメニューから登録したフィルタを選択すると、設定したテストサイクルでの絞り込み結果が表示されます。



フィルタによる絞り込みが行われている場合、チャート上部に有効となっているフィルタ名が表示されます。一度作成したフィルタは登録されるため、再設定の必要はありません。

9.2.5. フィルタ設定を変更・削除する

フィルタは作成後、フィルタ名や紐づけるテストサイクルの変更を行うことができるほか、フィルタ自体を削除することができます。

- (1) チャート画面、フィルタのプルダウンメニュー内の「フィルタ設定」よりフィルタ設定画面へ遷移します。



- (2) 対象のフィルタの欄にある「設定」ボタンを押します。



- (3) 編集画面へ遷移します。任意の項目を変更後に「更新する」ボタンを押すと変更作業が完了します。削除の場合は画面下部、フィルタの削除の項目で「削除」ボタンを押下後、確認メッセージで「OK」を選択すると削除が実行されます。

フィルタの編集

基本設定

必須 フィルタ名

サンプルフィルタ

テストサイクルの紐付け

選択可能なもの (1件)

名前で検索

テスト中 テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト
 TA
 2020/09/25 ~ 2020/10/09

選択したもの (1件)

名前で検索

テスト中 テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0 1回目テスト
 TA
 2020/09/11 ~ 2020/09/25

更新する

フィルタの削除

注意!
 フィルタを削除するとレポート画面での絞り込みが行えなくなります
 それでも構わない場合のみ実行して下さい。

自削除

9.2.6. 欠陥実績数を CSV で登録する

欠陥の OPEN、CLOSE 実績数を CSV で直接登録する方法を説明します。

- (1) 以下のフォーマットに合わせて、日付・OPEN 数・CLOSE 数を入力した CSV ファイルを作成します。

バグ情報の取込

バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。
 ヘッダ行は不用です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...

	A	B	C	D
1	2017/5/29	1	0	
2	2017/5/30	5	2	
3	2017/5/31	10	5	
4				
5				

※ヘッダ行は不要です。

- (2) 対象のテストフェーズレポートを開き、右上の設定メニューからバグ情報をアップロードリンクをクリックします。



- (3) バグ情報の取込ページを開いたら、ファイルを選択ボタンを押します。

バグ情報の取込

バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。
ヘッダ行は不要です。

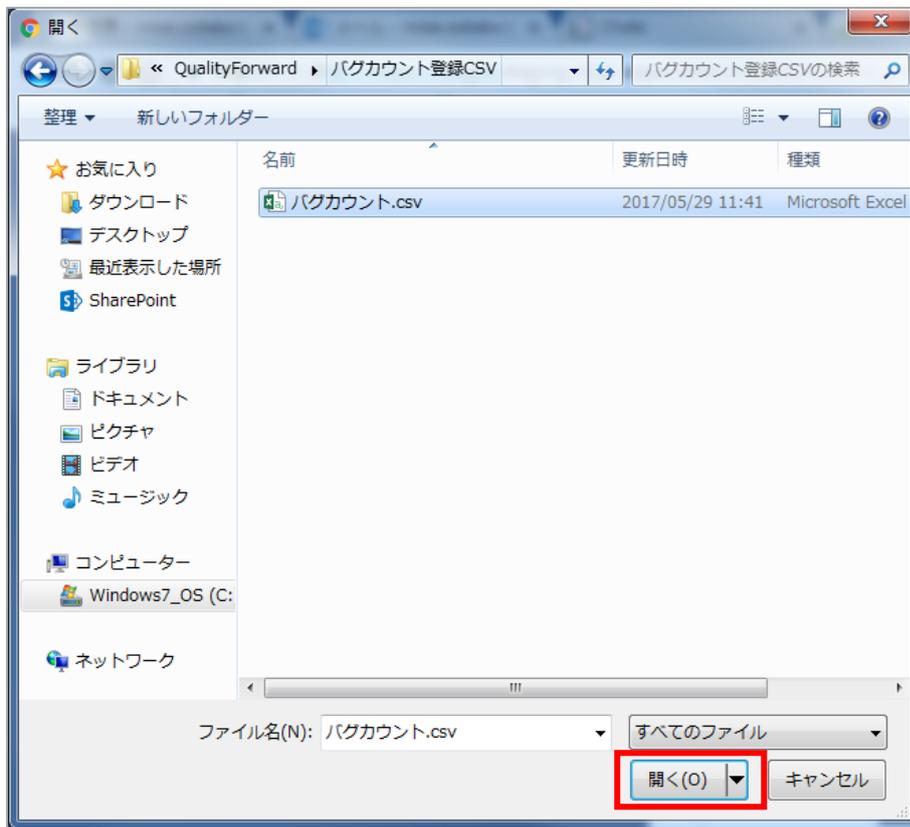
日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...

必須 CSVファイル(.csv)

ファイルを選択 選択されていません

登録する

- (4) 手順(1)で用意した CSV ファイルを選択します。



(5) 登録するボタンを押します。

バグ情報の取込

バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。
ヘッダ行は不用です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...

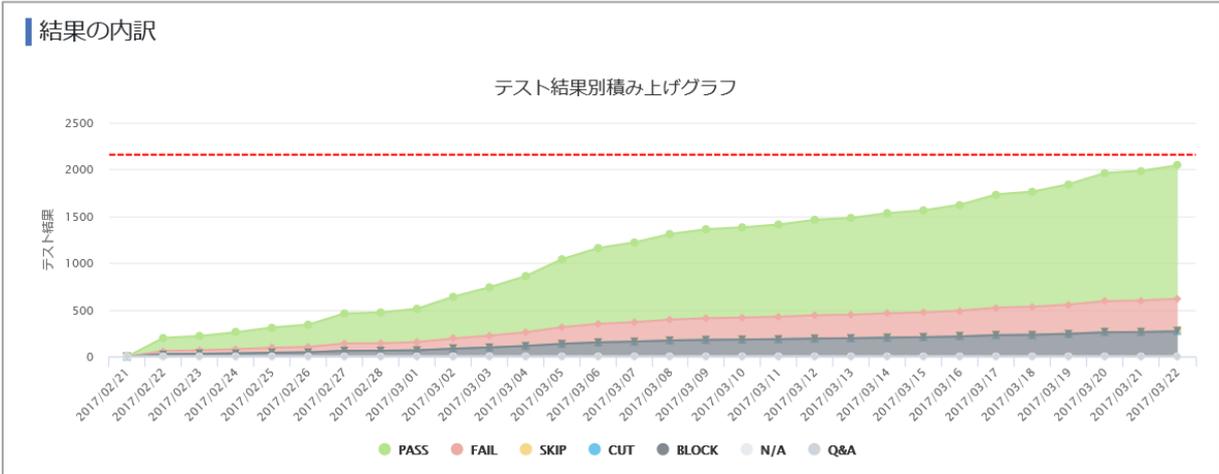
必須 csvファイル(.csv)
ファイルを選択 選択されていません

登録する

(6) 収束曲線画面へ遷移すれば登録成功です。

9.2.7. 進捗の内訳

対象のテストフェーズで実行されているテストの進捗件数のうち、どの結果が何件あるかを確認できます。



9.2.8. 最近のインシデント

インシデント取得用の URL が設定済みの場合、最近のインシデント 10 件がレポート画面に表示されます。「もっと見る」をクリックすることで、Redmine に遷移できます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル（1.1.4. 最近のインシデント取得用 URL を設定する）」をご確認ください。

最近のインシデント

[394] bug20	Normal / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[393] bug19	High / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[392] bug18	Immediate / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[391] bug17	Normal / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[390] bug16	High / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

[385] bug11

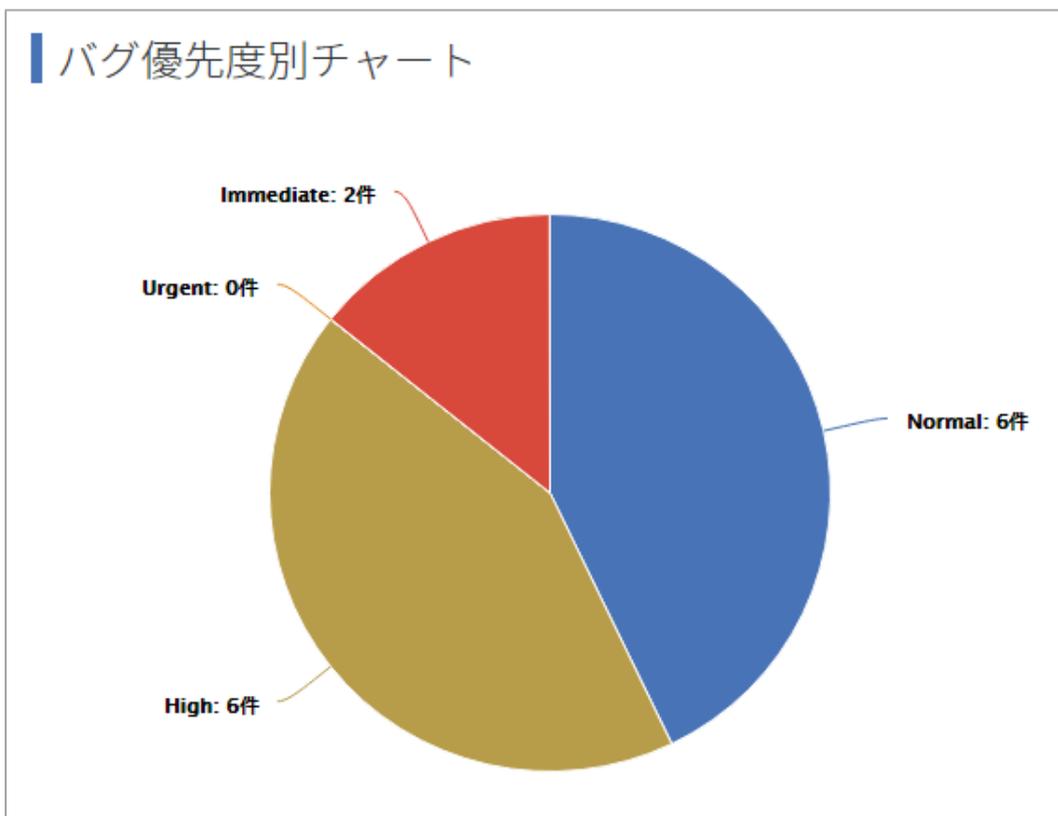
Normal / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

[もっと見る→](#)

9.2.9. バグ優先度別チャート

Redmine のベース URL を登録すると、登録済みのチケットのうち、どの優先度のチケットがどれだけあるかをひと目で確認できるチャートが表示されます。

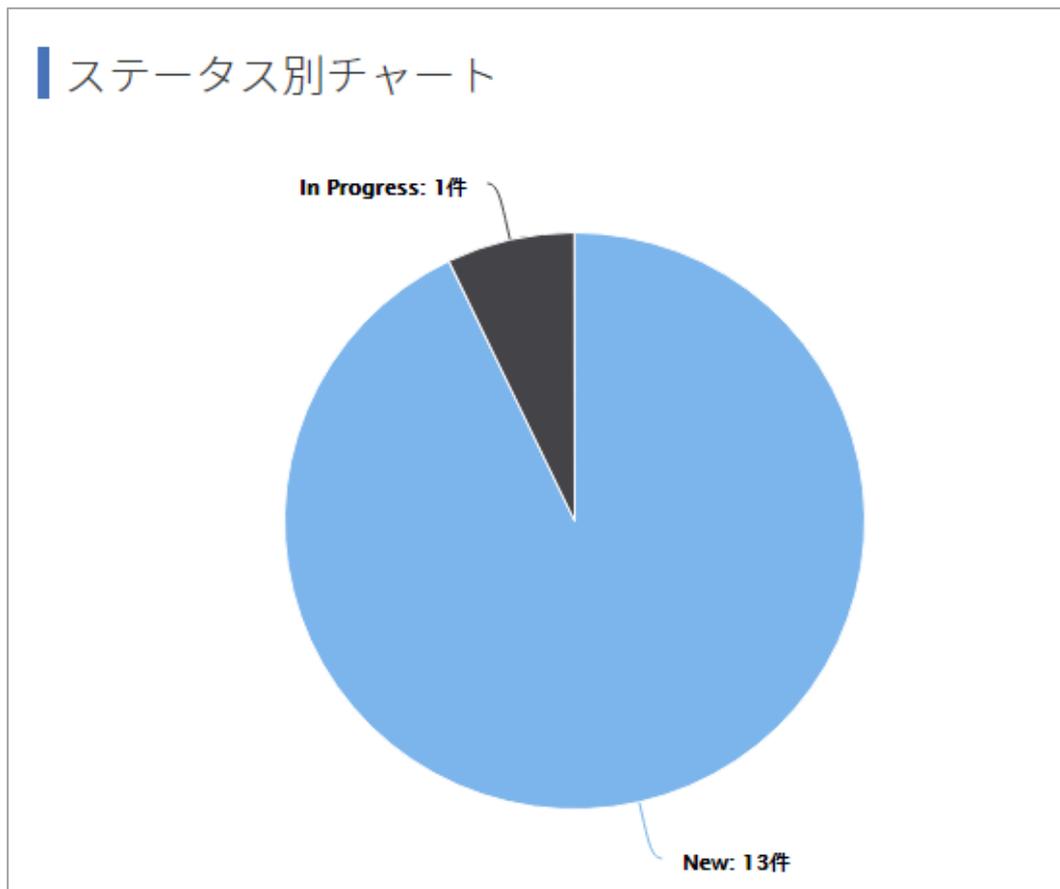
設定方法については「BTS 連携マニュアル(1.1.1. Redmine のベース URL を設定する)」をご確認ください。



9.2.10. ステータス別チャート

バグ取得用 URL を登録すると、登録済みチケットの各ステータスが何件ずつあるかを確認できるチャートが表示されます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル(1.1.3. バグ一覧取得用の URL を設定する)」をご確認ください。



9.2.11. テストブロッカーを確認する

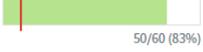
テストブロッカーを登録（手順 [3.1.4](#) および [5.1.5](#) 参照）しておけば、BLOCK や Q&A にしたステータスのどの内容がテストの実行を妨げているのか、件数の多い順から 10 件表示することができます。

テストブロッカーの上位10件	
BLOCK	発生件数
不具合番号003	19
不具合番号001	3
不具合番号002	1
Q&A	発生件数
質問番号002	9
質問番号001	3

9.2.12. 実績推移表

テストフェーズ単位で、フェーズ全体、およびテストサイクルごとの日々の実績、進捗率を集計、記録します。

- (1) プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧から実績を確認したいフェーズの実績推移表ボタンを押します。

フェーズ一覧		
テストフェーズ名 ▲	進行状況	
サンプルテストフェーズA <small>📅 2020/10/08 ~ 2020/11/08</small>	 3/60 (5%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
サンプルテストフェーズB <small>📅 2020/10/13 ~ 2020/11/13</small>	 50/60 (83%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
サンプルテストフェーズC <small>📅 2020/10/13 ~ 2020/11/13</small>	 21/60 (35%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表

- (2) 対象フェーズとプロジェクト全体の実績推移表が表示されます。

トップ / a / レポート一覧 / サンプルテストフェーズBの実績推移表 S sample_user

サンプルテストフェーズBの実績推移表 xlsx

	10/13(火)	10/14(水)	10/15(木)	10/16(金)	10/17(土)	10/18(日)	10/19(月)	10/20(火)	10/21(水)	10/22(木)	10/23(金)	10/24(土)	10/25(日)	10/26(月)	10/27(火)	10/28(水)	10/29(木)	10/30(金)	10/31(土)
全体	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績消化数	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予測消化数	5	6	5	6	0	0	5	6	5	6	5	0	0	6	5	0	0	0	0
実績進捗率	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%
予測進捗率	8.3%	18.3%	26.7%	36.7%	36.7%	36.7%	45.0%	55.0%	63.3%	73.3%	81.7%	81.7%	81.7%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績消化累計数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
予測消化累計数	5	11	16	22	22	22	27	33	38	44	49	49	49	55	60	60	60	60	60
PASS	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
PASS - FAIL→PASS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PASS - SKIP→PASS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
FAIL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SKIP - NG→SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CUT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BLOCK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BLOCK - NG→BLOCK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A - SKIP→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A - QA→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A - CUT→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
QA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累計バグ数	0																		
累計バグクローズ数	0																		

- (3) テスト結果補足を使用している場合、テスト結果補足の結果毎の件数も実績推移表に表示され、集計されます。

サンプルテストフェーズBの実績推移表

	10/13(火)	10/14(水)
全体	50	0
実績消化数	50	0
予測消化数	5	6
実績進捗率	83.3%	83.3%
予測進捗率	8.3%	18.3%
実績消化累計数	50	50
予測消化累計数	5	11
PASS	50	50
PASS - FAIL→PASS	0	0
PASS - SKIP→PASS	0	0
FAIL	0	0

9.2.13. 実績推移表をエクスポートする

実績推移表はエクセル形式でのエクスポートが可能です。

- (1) 実績推移表右上の xlsx ボタンを押します。

10/25(日)	10/26(月)	10/27(火)	10/28(水)	10/29(木)	10/30(金)	10/31(土)	
0	0	0	0	0	0	0	
0	6	5	0	0	0	0	
83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	
81.7%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
50	50	50	50	50	50	50	
49	55	60	60	60	60	60	
50	50	50	50	50	50	50	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	



(2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。

サンプルテストフェーズBの実績推移表

9.3. レポート設定

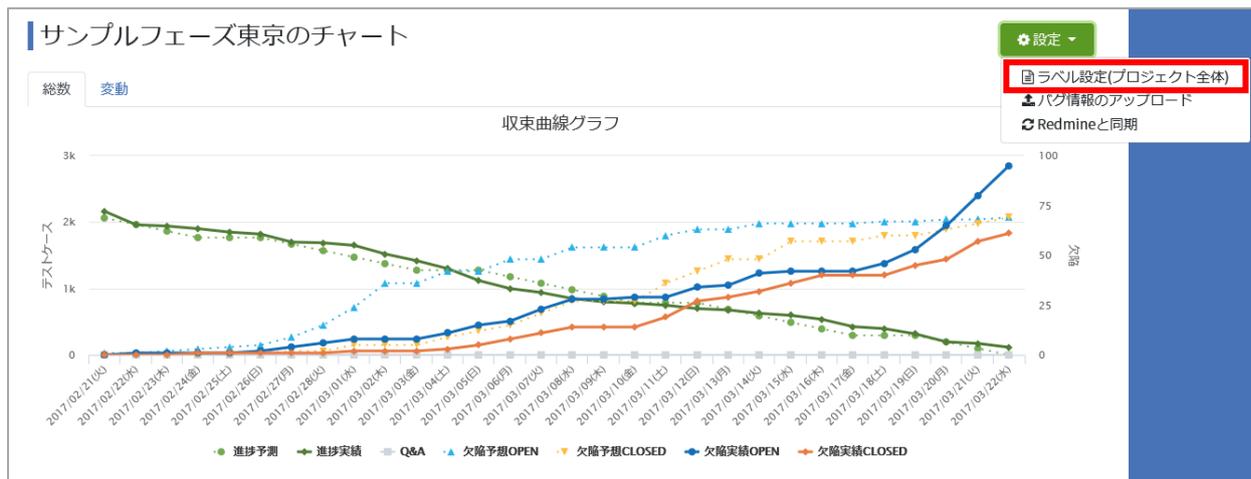
レポート画面での文言を自由に設定することができます。

9.3.1. フッターのラベルを変更する

レポート画面最下部のコピーライトを書き換えることが可能です。



- (1) テストフェーズのチャート画面右上の設定メニューからラベル設定をクリックします。



- (2) 基本設定のフッターラベルに設定したい文字を入力します。

レポートのラベル設定(プロジェクト全体)

基本設定

フッターラベル

- (3) 最下部の更新するボタンを押します。

更新する

© 2020 Veriserve Corporation

9.3.2. レポートのラベルを変更する

レポート画面のグラフに表示させるラベルの文言を自由に設定することができます。



(1) レポート画面右上の設定メニューからラベル設定をクリックします。



(2) 収束曲線グラフ設定のそれぞれの項目に設定したい文字を入力します。

収束曲線グラフ設定

グラフタイトル

テストケースラベル

欠陥ラベル

進捗予想ラベル

進捗実績ラベル

Q&Aラベル

欠陥予想OPENラベル

欠陥予想CLOSEDラベル

欠陥実績OPENラベル

欠陥実績CLOSEDラベル

更新する

(3) 最下部の更新するボタンを押します。

更新する

※初期値に戻したい場合はテキストボックスを空にして更新ボタンを押します。

第10章 チーム Wiki の管理

チーム内の情報共有の場としてチーム Wiki をご利用いただけます。本章ではチーム Wiki の利用方法について説明します。

10.1. チーム Wiki の作成

チーム Wiki の作成方法について説明します。

10.1.1. ページを新規作成する

(1) ダッシュボード画面左のメニューからチーム Wiki のリンクをクリックします。



(2) チーム Wiki トップページ右上の編集ボタンを押します。



(3) 共有したい内容を入力します。テキスト入力のほか、Markdown 記法による文章の装飾や表組の作成、画像の挿入などが可能です。

ページの編集 ? ヘルプ

記入 プレビュー

必須 ページ名

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。
 製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、
 任意にご活用ください。

オススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。
 ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた
 ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

Tips

- * Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- * 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- * 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

[更新する](#)

添付ファイル



ファイルをドロップするか
ここをクリックして下さい

(4) プレビュータブで入力内容の確認ができます。

ページの編集 ? ヘルプ

記入 プレビュー

必須 ページ名

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。
 製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、
 任意にご活用ください。

オススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。
 ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた
 ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

Tips

- * Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- * 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- * 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

[更新する](#)

添付ファイル



ファイルをドロップするか
ここをクリックして下さい

10.1.2. ファイルを添付する

(1) 画像を添付したい場合は、ページ編集画面右のファイル添付エリアにファイルをドロップす

るか、クリックします。

ページの編集

? ヘルプ

添付ファイル

ファイルをドロップするか
ここをクリックして下さい

更新する

(2) 入力を全て終えたら更新するボタンを押します。

ページの編集

? ヘルプ

添付ファイル

ファイルをドロップするか
ここをクリックして下さい

更新する

10.1.3. ページを追加する

チーム Wiki に既にページが存在する場合、新たにページを追加する方法を説明します。

- (1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



- (2) チーム Wiki ページ一覧右上のページ追加ボタンを押します。



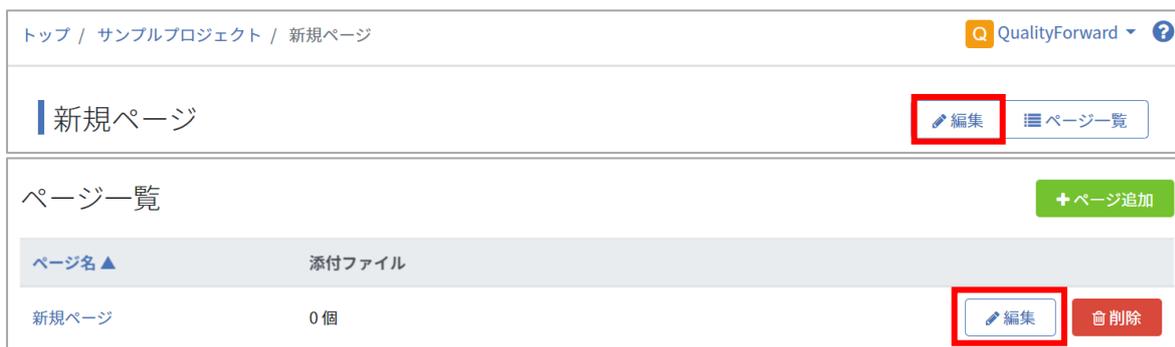
- (3) ページ名と内容を入力したら更新するボタンを押します。

10.2. チーム Wiki を編集・削除する

チーム Wiki の情報を編集・削除する方法を説明します。ページの情報にはチーム Wiki 画面からいつでも変更可能です。

10.2.1. ページを編集する

- (1) チーム Wiki トップページまたはページ一覧から編集ボタンを押します。



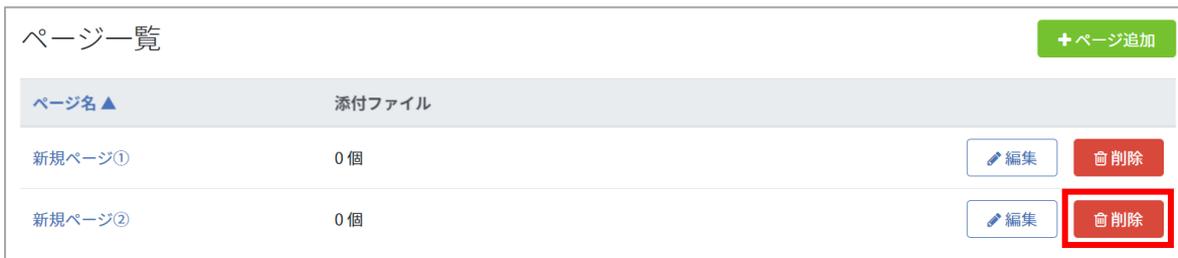
- (2) 内容の編集が完了したら更新ボタンを押します。

10.2.2. ページを削除する

(1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



(2) 消したいページの右側の削除ボタンを押します。



(3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



第11章 アラートセンターを利用する

テスト結果に空欄があるままレビュー依頼を送信した、特定の結果が入力されているのにレビュー依頼を送信した、進捗に一定の遅れがある場合に知らせるアラートセンター機能について説明します。

The screenshot shows the 'アラート一覧' (Alert List) page. At the top right is a button for 'アラートセンター設定' (Alert Center Settings). Below the title are two filters: 'アクティブ 282' (Active 282) and 'アーカイブ 0' (Archived 0). There are three alert messages displayed in colored boxes:

- Yellow box:** 2020/07/08 17:21. Message: 'テスト結果に含まれてはいけな結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！' (Review request submitted with results that should not be included, or cycle completed). Details: 'テストケースA-1.0 2回目テスト' (Test Case A-1.0 2nd test) contains the following results:
 - FAIL Action: '自アーカイブする' (Self-archive).
- Blue box:** 2020/07/08 17:01. Message: 'テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！' (Review request submitted with test results not recorded). Details: 'テストケースA-1.0 1回目テスト' (Test Case A-1.0 1st test) had a review request, but the specified priority test results are not recorded. Action: '自アーカイブする' (Self-archive).
- Red box:** 2020/07/08 17:00. Message: '進捗が遅れているテストフェーズがあります！' (There are test phases with delayed progress). Details: 'フェーズE' (Phase E) progress is 20% or more delayed. Action: '自アーカイブする' (Self-archive).

11.1. アラートを設定する

アラートセンター設定の利用するにチェックをすることで、アラートを検知することができるようになります。

アラートの設定はプロジェクト管理者以上の権限が必要となります。

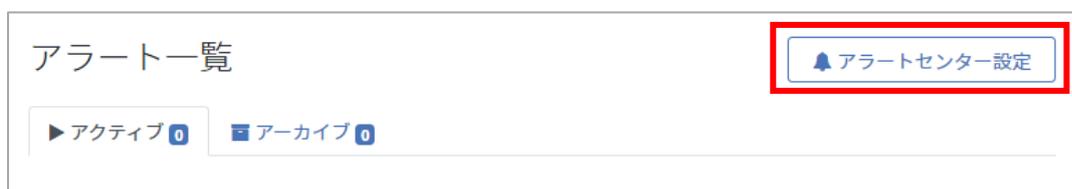
11.1.1. レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っている際に検知する

レビュー依頼送信時にテスト結果に空欄がある場合に通知します。

(1) 左のメニューからアラートセンターをクリックします。



(2) アラート一覧画面右上のアラート設定ボタンを押します。



(3) レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っているの「利用する」にチェックを入れます。



(4) 重要度を選択します。重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。info は青、warning は黄、danger は赤になります。



(5) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

11.1.2. レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている際に検知する

レビュー依頼送信時、テスト完了時に特定のテスト結果が入力されている場合に通知します。

- (1) レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っているの「利用する」にチェックを入れます。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS FAIL SKIP CUT BLOCK N/A Q&A

重要度

Warning

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (2) テスト完了時に残っていてほしくないテスト結果を選択します。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS FAIL SKIP CUT BLOCK N/A Q&A

重要度

Warning

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (3) 重要度を選択します。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS FAIL SKIP CUT BLOCK N/A Q&A

重要度

Warning

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (4) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

11.1.3. テストフェーズの進捗に遅れがある際に検知する

本日までの予定に対し、進捗率が選択した割合よりも遅れている場合に通知します。

※進捗の遅れは毎日 23:30 頃に集計され、アラートセンターに表示されます。

(1) テストフェーズの進捗遅れアラートの「利用する」

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▼

重要度

Danger ▼

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

(2) アラートを出す進捗遅れ割合を選択します。

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▼

重要度

Danger ▼

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

(3) 重要度を選択します。

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▼

重要度

Danger ▼

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

(4) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

11.2. アラートをアーカイブする

解決済みのアラートはアーカイブし、アラート一覧画面を整理することができます。

(1) アラート一覧のアクティブタブから、アーカイブしたい通知のアーカイブするボタンを押します。



The screenshot shows the 'アラート一覧' (Alert List) interface. At the top right is a button for 'アラートセンター設定' (Alert Center Settings). Below the title are two tabs: 'アクティブ 282' (Active 282) and 'アーカイブ 0' (Archived 0). The main area contains three alert cards, each with a timestamp, a title, a description, and an 'アーカイブする' (Archive) button.

- Alert 1 (Yellow background):** Timestamp: 2020/07/08 17:21. Title: テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります! (Review request posted with results that should not be included in test results, or a cycle is completed). Description: テストケースA-1.0 2回目テストには以下のテスト結果が含まれていました。 (The following test results were included in the 2nd test of Test Case A-1.0). List: • FAIL. Button: アーカイブする (highlighted with a red box).
- Alert 2 (Blue background):** Timestamp: 2020/07/08 17:01. Title: テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります! (Review request posted for a cycle with test results not recorded). Description: テストケースA-1.0 1回目テストでレビュー依頼がありましたが、指定の優先度のテスト結果の記入が完了していません。 (Review request for Test Case A-1.0 1st test, but test results of specified priority are not recorded). Button: アーカイブする.
- Alert 3 (Red background):** Timestamp: 2020/07/08 17:00. Title: 進捗が遅れているテストフェーズがあります! (There are test phases with slow progress). Description: フェーズEの進捗が20%以上遅れています。 (Progress of Phase E is 20% or more delayed). Button: アーカイブする.

(2) アーカイブした通知は、アラート一覧のアーカイブタブに表示されます。

▶ アクティブ 394

■ アーカイブ 3

◎ 2020/07/08 17:00

進捗が遅れているテストフェーズがあります！

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

フェーズEの進捗が20%以上遅れています。

🏠 [アーカイブから戻す](#)

◎ 2020/07/08 17:01

テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

テストケースA-1.0 1回目テストでレビュー依頼がありましたが、指定の優先度のテスト結果の記入が完了していません。

🏠 [アーカイブから戻す](#)

◎ 2020/07/08 17:21

テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

テストケースA-1.0 2回目テストには以下のテスト結果が含まれていました。

- FAIL

🏠 [アーカイブから戻す](#)